

北海道議会時報

平成5年第2回定例会



北海道議会事務局

北海道議会時報第45巻第2号(平成5年第2回定例会)

(表紙写真)

旧開拓使工業局庁舎（北海道開拓の村・札幌市厚別区厚別町小野幌50）

明治6年（1873）に設置された開拓使工業局は、道路・橋梁・官庁・学校等の建設をはじめ、家財・機械・農具・車両などの製造事業を行ない、本道開拓の発展に大きな業績を残した。

この建物は明治初期の洋風事務所建築の特徴を示し、開拓使関係庁舎としては現存する唯一のものである。

- 旧所在地 札幌市白石区菊水1条1丁目（札幌郡上白石村大字上白石村2番地）
- 建築年代 明治37年（1904）
- 面積 28.75坪（95.04㎡）
- 構造 木造平屋一部2階建
- 寄贈者 南川吉右衛門
- 収集年 → 復元年 昭和49年（1974）→ 54年（1979）



議 長 桜 井 外 治

就 任 の あ い さ つ

一言ごあいさつ申し上げます。

ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により議長の重責を担うことになりましたことは、まことに光栄に存じますとともに、その職責の重大さを痛感しております。

ここに謹んでお受けいたします。

今日、道民の道議会に対する期待と関心は大なるものがあるわけであります。

今後は、当面する道政上の諸問題に適切に対処いたしますとともに、議会の公正・円滑な運営に全力を挙げ、道民の期待と信頼にこたえるべく最善の努力をしてまいる決意でございます。

就任に際し、皆様の御支援と御協力を心からお願い申し上げまして、簡単ではございますが、ごあいさついたします。

(6月21日の本会議場において)



副議長 保 格 博 夫

就 任 の あ い さ つ

ただいまの選挙におきまして、皆様の御推挙により副議長の重責を担うことになりました。まことに光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いでございます。

ここに謹んでお受けいたします。

今後は、議長とともに道政の進展と議会の円滑な運営のため、最善の努力を尽くす決意でございます。皆様の格別な御協力をお願い申し上げ、簡単ではございますが、ごあいさついたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

(6月21日の本会議場において)

…… も く じ ……

第 2 回 定 例 会

概 要	1
本 会 議	3
提 出 案 件	13
決 議 案	16
意 見 案	16
請 願 ・ 陳 情	20

委 員 会 の 動 き

議会運営委員会	21
常 任 委 員 会	25
特 別 委 員 会	34
総合開発調査特別委員会	
石炭対策特別委員会	
北方領土対策特別委員会	
エネルギー問題調査特別委員会	
交通安全対策特別委員会	
過疎地域振興対策特別委員会	
予算特別委員会	39

資 料

議会運営及び各常任・特別委員名簿 …	43
北海道議会議席表	45
第40回衆議院議員総選挙結果	46
(平成5年7月18日執行)	

4・5・6・7月のメモ

注 決算・企業会計決算特別委員会（審査終了後一括掲載）

議 会 日 誌

▶ 4 月

6 日(火) 各常任委員会
7 日(水) 総合開発調査特別、石炭対策特別、
北方領土対策特別、エネルギー問題
調査特別、交通安全対策特別、過疎
地域振興対策特別各委員会

▶ 5 月

11 日(火) 議会運営、各常任委員会
12 日(水) 総合開発調査特別、石炭対策特別、
北方領土対策特別、交通安全対策特
別、過疎地域振興対策特別各委員会
14 日(金) 決算特別委員会
18 日(火) }
19 日(水) } 決算特別委員会
20 日(木) }
21 日(金) }
25 日(火) }
26 日(水) } 決算特別委員会
27 日(木) }
28 日(金) }
31 日(月) 決算特別委員会

▶ 6 月

1 日(火) 各常任委員会
2 日(水) 総合開発調査特別、北方領土対策特
別、エネルギー問題調査特別各委員
会
7 日(月) }
8 日(火) } 決算特別委員会
11 日(金) 議会運営委員会
15 日(火) }
16 日(水) } 決算特別委員会
17 日(木) 議会運営、各常任、総合開発調査特
別、石炭対策特別、北方領土対策特
別、エネルギー問題調査特別、交通
安全対策特別、過疎地域振興対策特
別、決算特別各委員会
18 日(金) (第 2 回定例会開会)
議会運営委員会
本会議 (会期決定<18 日間>)

21 日(月)

議会運営委員会

本会議 (正副議長の辞職許可及び選挙、
提案説明、副知事、出納長及び人事委員
会委員の各選任同意、意見案 1 件可決)

23 日(水)

議会運営、各常任、総合開発調査特
別、石炭対策特別、北方領土対策特
別、エネルギー問題調査特別、交通
安全対策特別、過疎地域振興対策特
別各委員会

本会議 (議席の一部変更、各常任、議会
運営・特別各委員選任)

24 日(木)

議会運営委員会

本会議 (代表質問<1 人>)

25 日(金)

議会運営委員会

本会議 (代表質問<3 人>)

28 日(月)

議会運営委員会

本会議 (一般質問<3 人>)

29 日(火)

議会運営委員会

本会議 (一般質問<5 人>、予算・企業
会計決算特別各委員会設置)

予算・企業会計決算特別各委員会(正副
委員長の互選、予算第 1・第 2 各分科会
設置)

予算第 1・第 2 各分科会 (正副委員長
の互選)

30 日(水)

予算第 1・第 2 各分科会 (各部所管審
査)

▶ 7 月

1 日(木)

予算特別委員会 (議案等可決)

各常任、総合開発調査特別、石炭対
策特別、北方領土対策特別、交通安
全対策特別、過疎地域振興対策特別、
決算・企業会計決算特別各委員会

2 日(金)

議会運営委員会

本会議 (議案 17 号・1 件撤回承認、各委
員長報告、議案等可決、追加提案説明、
公安委員会委員並びに方面公安委員会委
員各選任同意、監査委員の選任同意、石
狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙、
決議案 1 件可決及び 1 件否決、意見案 2

件可決、報告第31号ないし第35号及び継続審査中の報告第1号の閉会中継続審査の決定、会期中の閉会議決)

(第2回定例会閉会)

第 2 回 定 例 会

議長に桜井外治議員(自民)、
副議長に保格博夫議員(社会)を選出

▶1,419億円余の大型補正予算可決◀

概 要

- ① 正副議長、常任・特別委員等の改選及び平成5年度補正予算等を審議する第2回定例会は、6月18日招集され、正副議長等議会構成に係る各会派の協議がまとまらず、冒頭は、会期を7月5日までの18日間と決定し、延会した。
- ② 正副議長の選挙は、21日に行われ、投票による選挙により第19代議長に桜井外治議員(自民)を、第21代副議長に保格博夫議員(社会)を選出した。
- ③ 次に知事から提出案件について説明の後、副知事及び出納長の選任議事について先議し、原案のとおり同意議決。このあと、「稲作経営の安定に関する意見案」を原案可決し、議案調査のため6月22日を休会することに決定した。
- ④ 6月23日は、議席の一部変更を行い、各常任委員及び議会運営委員並びに総合開発調査、石炭対策、北方領土対策、エネルギー問題調査、交通安全対策及び過疎地域振興対策の各特別委員をそれぞれ議長指名により選任した。
- ⑤ 6月24日から代表質問に入り、25日に終結。6月28日から一般質問に入り、29日に一般質問を終結。直ちに予算特別委員会及び企業会計決算特別委員会を設置、議案等を各委員会に付託し、各委員会付託議案審査のため、6月30日から7月1日まで休会した。
- ⑥ 予算特別委員会は、6月29日に正副委員長の互選を行い、2分科会を設置の上、翌30日から各部所管の審査に入り、同日これを終え、翌7月1日平成5年度各会計補正予算をいずれも原案可決した。
- ⑦ 本会議再開日の7月2日は、道道砂川歌志内線道路改良工事に係る工事請負契約締結の件の撤回について、承認。

次に、付託案件に対する各委員長報告の後、討論、採決の結果、いずれも原案可決又は承認議決。

次に、公安委員会委員及び議員選出監査委員の人事案件が追加提案され、知事から提案説明の後いずれも同意議決。

次に、石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙を指名推選の方法により行った後、共産党提出の「企業・団体献金の禁止、定数の抜本是正を求める決議案」と自民党提出の「政治改革の早期実現を求める決議案」を上程し、それぞれ提案説明、質疑、討論、採決の結果、自民党提案の決議案を可決、共産党提案の決議案を否決した。

次に、「石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見案」ほか1件の意見案について、いずれも原案可決。

次に、閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件を決定し、次に会期中の閉会を議決し、開会以来15日目の7月2日に閉会した。

⑧ 提出案件の議決状況は、次のとおりである。

提出者	提出件数	議 決 の 状 況							
		原案可決	承認議決	同意議決	報告のみ	継続審査	撤回	否決	計
知 事	70	29	3	5	27	5 (1)	1	—	70 (1)
議 員	5	4	—	—	—	—	—	1	5
計	75	33	3	5	27	5 (1)	1	1	75 (1)

注 () 内は、継続審査に係る議決件数を示し外数

本 会 議

○6月18日（金） 午後4時42分開議、若狭 靖議長、平成5年第2回定例会の開会を宣し、

日程第1 会議録署名議員の指定を行い、諸般の報告の後、

議長から、元議員大島仁三郎氏の逝去（3月31日）、岩瀬正人氏の逝去（4月9日）、島田 薫氏の逝去（4月23日）及び東 典俊氏の逝去（5月25日）について弔意を表した旨報告。

日程第2 会期決定の件を議題とし、今期定例会の会期を本日から7月5日までの18日間と決定。あらかじめ会議時間を延長し、午後4時45分休憩、午後10時4分再開し、午後10時5分延会。

○6月21日（月） 午後2時39分開議、諸般の報告の後、副議長と交代し、

日程第1 議長辞職の件を議題とし、若狭 靖議長の辞職を許可することを異議なく決定。

日程第2 議長の選挙に入り、議場を閉鎖、立会人に、野呂善市議員（自民）、長沢 徹議員（社会）、乙川節郎議員（公明）、風早俊男議員（民政）を指名。選挙の方法は、単記無記名投票で行い、点呼に応じ投票、開票の結果、投票総数102票、有効投票95票、白票7票、棄権1票、桜井外治議員（自民）82票、青山 章議員（自民）13票で、桜井外治議員が当選。議場の閉鎖を解き、議長から就任あいさつ。次に、

日程第3 副議長辞職の件を議題とし、青木延男副議長の辞職を許可することを異議なく決定。

日程第4 副議長の選挙に入り、議長選挙と同様に取り進め、開票の結果、投票総数103票、有効投票99票、白票4票、保格博夫議員（社会）98票、鰐谷 忠議員（社会）1票で保格博夫議員が当選。議場の閉鎖を解き、副議長から就任あいさつ。

日程第5 議案第1号ないし第33号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、知事から提出議案について説明。

日程第5のうち、議案第31号ないし第33号を先議することに決定して、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第31号及び第32号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり同意議決。（共産反対）

議案第33号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。

日程第6 意見案第1号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略し、異議なく原案のとおり可決。

議案調査のため、6月22日は休会することに決定して、午後3時55分散会。

○6月23日（水） 午後3時59分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議席の一部変更の件を議題とし、配付の議席表のとおり変更することを異議なく決定。

日程第2 常任委員選任の件を議題とし、議長指名により、次の委員を選任。

○総務委員（14人）

板谷 実（民政）	加藤 和久（自民）
段坂 繁美（社会）	佐藤 寛一（社会）
野呂 善市（自民）	畠山 博（自民）
湯佐 利夫（自民）	谷川 英雅（社会）
小田原要四蔵（社会）	青木 延男（社会）
高橋 鉦（公明）	橋 浪蔵（自民）
高木 繁光（自民）	中崎 昭一（自民）

○生活福祉委員（13人）

萩原 信宏（共産）	清水 誠一（自民）
乙川 節郎（公明）	吉田 栄（社会）
鈴木 泰行（社会）	菅原 功一（自民）
吉川 貴盛（自民）	高橋 康之（自民）
深田 義勝（社会）	大島 一郎（社会）
檜林 巖（社会）	中川 義雄（自民）
藤井 猛（自民）	

○保健環境委員（13人）

小原 葉子（社会）	伊藤 条一（自民）
大橋 晃（共産）	高橋 文明（自民）
平井 進（自民）	木本 由孝（自民）
西本 美嗣（社会）	高橋 庸（社会）
関根 建二（社会）	輪島 幸雄（社会）
渋谷 澄夫（社会）	若狭 靖（自民）
桜井 外治（自民）	

○商工労働観光委員（13人）

木村 澄男（道政）	石井 孝一（自民）
山口幸太郎（自民）	平出 陽子（社会）

井野 厚 (社会)	吉田 恵悦 (公明)
永井 利幸 (自民)	小野寺 勇 (自民)
柏倉 勝雄 (社会)	菊地 芳郎 (社会)
長岡 寅雄 (社会)	久田 恭弘 (自民)
平野 明彦 (自民)	

○農政委員 (14人)

明田 辰義 (自民)	釣部 勲 (自民)
山崎 正隆 (自民)	神戸 典臣 (自民)
高橋由紀雄 (社会)	土田 弘 (社会)
大野 新生 (自民)	青山 章 (自民)
水野 重男 (民政)	森 敏捷 (社会)
石川十四夫 (道政)	吉野 之雄 (社会)
舟山 広治 (社会)	古川 靖晃 (自民)

○建設委員 (14人)

伊藤 政信 (社会)	川尻 秀之 (自民)
風早 俊男 (民政)	佐々木隆博 (社会)
長沢 徹 (社会)	高橋 一史 (自民)
伊達 忠一 (自民)	勝木 省三 (自民)
綿貫 健輔 (自民)	工藤万砂美 (自民)
浅野 俊一 (公明)	大平 盛雄 (社会)
笠島 保 (社会)	川口 常人 (自民)

○水産林務委員 (13人)

岡本 修 (社会)	川村 正 (自民)
高橋 定敏 (自民)	鰐谷 忠 (社会)
小池 昌 (社会)	藤沢 一雄 (民政)
佐藤 時雄 (自民)	酒井 芳秀 (自民)
中川 隆之 (自民)	神本 三也 (社会)
岩崎 守男 (社会)	工藤 啓二 (公明)
吉田 政一 (自民)	

○文教委員 (14人)

上田 茂 (自民)	三津 丈夫 (社会)
岩井 正明 (社会)	和田 敬友 (自民)
山口 真人 (自民)	岩本 允 (自民)
伊藤 武一 (公明)	大内 良一 (社会)
岡本栄太郎 (社会)	保格 博夫 (社会)
小野 秀夫 (民政)	水岡 薫 (自民)
佐々木利昭 (自民)	新沼 浩 (自民)

日程第3 議会運営委員選任の件を議題とし、議長指名により、次の委員を選任。

○議会運営委員 (14人)

伊藤 条一 (自民)	川尻 秀之 (自民)
釣部 勲 (自民)	山崎 正隆 (自民)
風早 俊男 (民政)	高橋由紀雄 (社会)
三津 丈夫 (社会)	佐藤 寛一 (社会)
長沢 徹 (社会)	高橋 一史 (自民)
永井 利幸 (自民)	吉川 貴盛 (自民)
伊藤 武一 (公明)	西本 美嗣 (社会)

日程第4 特別委員選任の件を議題とし、議長指名により、次の委員を選任して、午後4時2分散会。

○総合開発調査特別委員 (19人)

木村 澄男 (道政)	清水 誠一 (自民)
高橋 定敏 (自民)	平出 陽子 (社会)
三津 丈夫 (社会)	井野 厚 (社会)
佐々木隆博 (社会)	鈴木 泰行 (社会)
吉田 恵悦 (公明)	高橋 文明 (自民)
伊達 忠一 (自民)	平井 進 (自民)
山口 真人 (自民)	青山 章 (自民)
森 敏捷 (社会)	大内 良一 (社会)
小野 秀夫 (民政)	久田 恭弘 (自民)
平野 明彦 (自民)	

○石炭対策特別委員 (15人)

加藤 和久 (自民)	川尻 秀之 (自民)
釣部 勲 (自民)	高橋由紀雄 (社会)
土田 弘 (社会)	長沢 徹 (社会)
藤沢 一雄 (民政)	和田 敬友 (自民)
大野 新生 (自民)	綿貫 健輔 (自民)
工藤万砂美 (自民)	伊藤 武一 (公明)
石川十四夫 (道政)	長岡 寅雄 (社会)
岩崎 守男 (社会)	

○北方領土対策特別委員 (13人)

板谷 実 (民政)	山崎 正隆 (自民)
吉田 栄 (社会)	鰐谷 忠 (社会)
佐藤 寛一 (社会)	永井 利幸 (自民)
小野寺 勇 (自民)	湯佐 利夫 (自民)
高橋 康之 (自民)	柏倉 勝雄 (社会)
舟山 広治 (社会)	工藤 啓二 (公明)
佐々木利昭 (自民)	

○エネルギー問題調査特別委員（17人）

小原 葉子（社会）	川村 正（自民）
山口幸太郎（自民）	風早 俊男（民政）
高橋 一史（自民）	野呂 善市（自民）
酒井 芳秀（自民）	吉川 貴盛（自民）
中川 隆之（自民）	浅野 俊一（公明）
西本 美嗣（社会）	大平 盛雄（社会）
高橋 庸（社会）	谷川 英雅（社会）
関根 建二（社会）	渋谷 澄夫（社会）
高木 繁光（自民）	



○交通安全対策特別委員（17人）

伊藤 政信（社会）	明田 辰義（自民）
伊藤 条一（自民）	上田 茂（自民）
乙川 節郎（公明）	段坂 繁美（社会）
岩井 正明（社会）	小池 昌（社会）
佐藤 時雄（自民）	菅原 功一（自民）
勝木 省三（自民）	水野 重男（民政）
大島 一郎（社会）	菊地 芳郎（社会）
神本 三也（社会）	橋 浪蔵（自民）
水岡 薫（自民）	

○過疎地域振興対策特別委員（15人）

岡本 修（社会）	石井 孝一（自民）
加藤 和久（自民）	神戸 典臣（自民）
高橋 文明（自民）	畠山 博（自民）
湯佐 利夫（自民）	木本 由孝（自民）
水野 重男（民政）	深田 義勝（社会）
岡本栄太郎（社会）	小田原要四蔵（社会）
吉野 之雄（社会）	輪島 幸雄（社会）
高橋 鉦（公明）	

○6月24日（木） 午前10時57分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、代表質問に入り、佐藤 時雄議員（自民）から、

1 ハイメックス構想について

- ・ハイメックス構想が研究都市構想に変更した時期及びその理由
- ・国立代用臓器開発研究センター誘致計画の状況
- ・高次医療治療センター建設構想消滅の理由
- ・クラスター状機能連携の内容
- ・国際的頭脳集積実現に対する判断

- ・地域振興整備公団の調査対象地として採択される見通し

2 旧ソ連による核海洋投棄問題について

- ・本道周辺海域での定期的調査実施に対する見解
- ・高レベル核廃棄物の処理・処分技術の研究促進に対する見解

3 平成6年度開発予算要望の取組みについて

- ・新長期総合計画の進捗状況及び計画達成に向けての要望内容
- ・過疎地域、日本海地域等への公共投資に対する方針
- ・建設省の公共事業重点分野見直しの動向及びそれへの対処
- ・事業の掘り起こしに対する取組み及び新規事業の要望内容

4 経済界の横路道政批判について

- ・経済政策及び地域振興策実現状況に対する批判の受止め
- ・戦略プロジェクト実現に向けての取組み

5 景気対策の推進について

- ・補正予算を生かすための取組み
- ・金融機関の中小企業に対する融資への対処
- ・商工会、商工会議所等への指導

6 国の新政策が目指す農業の実現について

- ・大規模経営体育成への対処
- ・省力化への取組み
- ・コントラクター育成システム形成への見解
- ・道内の農業生産法人の動向及び今後の育成に当たっての考え
- ・1戸1法人育成への取組み
- ・北海道開発局がまとめたルーラルビジョンに対する受止め

7 農業農村整備事業の地元負担問題について

- ・国営土地改良事業負担金等徴収条例改正案の提案時期及び事業推進への影響

- ・地元負担見直しに対する見解
- 8 漁業協同組合の合併推進について
 - ・合併推進に向けての取組内容及び実績並びに合併が進まない要因
 - ・前回の合併促進基本構想に対する見解
 - ・合併推進目標の根拠
 - ・漁協の繰越欠損金及び固定化債権の現状並びに対策
- 9 学級編制基準及び教員配置改善計画について
 - ・第六次改善計画に対する受止め及び計画実施に当たっての対応
 - ・チームティーチング制度の導入状況及び実施校数並びに効果
 - ・40人学級実施計画内容
 - ・学校図書館司書教諭増員に対する見解
 - ・養護教諭複数化及び帰国子女教育充実への対応
- 10 教職員の週休2日制実施に伴うまとめ取りについて
 - ・まとめ取り実施における北教組の条件内容
 - ・北教組との確認文書の内容
 - ・夏冬休みがすべて研修日になっている理由
 - ・研修計画及びレポート提出の有無
 - ・長期休業中の校務分担内容
 - ・主任命課に基づく場合の主任手当の支給状況
- 11 交通事故防止について
 - ・本道交通事故の特性及び死亡事故の特徴
 - ・郊外部交差点事故中の信号機有無による発生状況
 - ・郊外部での死亡事故発生の傾向
 - ・交通安全施設整備の効果
 - ・交通信号機取付けの考え方
 - ・信号機及び追越禁止区間の過剰設置に対する見解

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁があって、午後零時34分休憩、午後2時21分再開。同議員から再質問、知事から答弁準備のため時間を要する旨発言があり、午後2時46分休憩、午後3時56分再開し、午後3時57分延会。

○6月25日（金） 午前11時28分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、6月24日の佐藤時雄議員（自民）の再質問に対し、知事及び教育長から答弁。同議員から発言があって、午前11時52

分休憩、午後1時10分再開。

吉田 栄議員（社会）から



- 1 知事公約について
 - ・これまでの公約の実施状況に対する評価
 - ・公約実現に向けての取組み
- 2 景気対策について
 - ・今回の補正予算による道内景気への効果
 - ・景気対策のための財源措置
 - ・中小企業経営安定特別資金制度の運用及び活用に対する指導
 - ・今回の融資枠の中小企業への効果
- 3 航空宇宙産業基地構想について
 - ・航空宇宙産業に対する認識
 - ・道内の誘致活動への対処及び関係地域との連携方法
 - ・他県における航空宇宙産業基地構想の状況
- 4 鉄道在来線の整備促進について
 - ・JR学園都市線複線化へ向けての道の役割及び財政支援に対する見解
 - ・札幌・釧路間の高速化へ向けての取組み
- 5 ラムサール会議について
 - ・釧路声明の内容に対する認識
 - ・湿原の保全対策
- 6 廃棄物の減量化・リサイクルについて
 - ・廃棄物の減量化及びリサイクルに対する取組み並びに成果
 - ・廃棄物の減量化・リサイクルアクションプランの活用状況及び実行状況
 - ・資源リサイクル推進へ向けての対応
 - ・再生事業者の育成・支援に向けての対応
- 7 林業担い手対策について
 - ・林業労働者の役割及び労働条件等に対する認識並びに林業労働対策
 - ・就労日数確保に向けての対策
- 8 農畜産物輸入自由化問題について
 - ・自由化阻止に向けての取組み

9 教育問題について

- 本道教育の現状及び課題並びに今後の教育行政の推進方針
- 高等学校教育の在り方に対する文部省からの指導内容及び受止め
- 高等学校総合学科設置に伴う改善内容
- 総合学科設置に向けた取組み

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。

工藤 啓二議員（公明）から、



1 対ロシア交流について

- ロシア各州知事との会談におけるロシア側からの要請等に対する受止め及び対応
- ロシア交流の今後の展開

2 姉妹・友好地域との交流について

- 交流の実態に対する認識及び交流拡大に向けての取組み

3 景気対策について

- 今回の補正予算の経済効果
- 道持家建設資金の貸付利率引下げに対する見解
- 個人消費回復を図るための方策
- 道内の景気回復の見通し

4 道内の工業振興等について

- 地域産業活性化へ向けての施策展開と新計画の理念との整合性
- 道内各地の工業等の現状及び今後の取組み
- 道北・道東・日本海地域等の工業振興方策
- 頭脳立地計画推進へ向けての取組み
- 道立寒地住宅都市研究所の改築に対する見解

5 農業・水産問題について

- 北海道農業・農村のめざす姿の具体的展望及び実現に向けての取組み
- 土地改良区の現状に対する認識
- 土地改良区運営基盤安定を図るための取組み
- 土地改良償還金及び維持管理費の軽減対策

- 韓国漁船操業問題に対する認識及び今後の取組み

6 医療福祉問題について

- 乳幼児医療費助成制度の拡充に対する見解
- 在日韓国人等に対する高齢者福祉手当支給の実現に向けての見解

7 自然環境問題について

- 本道における湿原の現状認識及び保全対策
- 資源リサイクルに対する取組み
- リサイクル条例制定に対する見解
- 地域におけるリサイクル活動促進に向けての取組み

8 教育問題について

- 高等学校教育への総合学科導入に対する見解及び取組み並びに新教育長期計画後期計画における対応
- 障害の重い生徒に対する就学機会の確保に向けての取組み
- 道内私立高校における父母負担の現状認識
- 私立高校入学金貸付制度の改善に向けての取組み
- 私立高校施設整備拡充のための貸付金制度拡充に対する見解

9 暴力団対策について

- 財団法人北海道暴力追放センターの活動状況及び今後の活動方針

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁があって、午後3時25分休憩、午後3時49分再開。

板谷 実議員（民政）から



1 景気問題について

- 本道景気の現状認識及び景気回復への対応
- 最終需要の変化に対する受止め

2 行財政問題について

- 国と地方との関係に対する見解及び改革内容

- 行政改革に対する見解
 - 道の機構改革及び職員定数に対する見解
 - 道から市町村への権限委譲に対する見解
 - 道と市町村との機能分担に対する見解
 - 平成5年度の道税収入の見通し
 - 道債依存の財政運営に対する見解
 - 歳出に占める道債の元利償還額の割合に対する見解及び今後の比率の推移
 - 新たな財源の確保に対する見解
- 3 北の技術開発ネットワークについて
- この構想の変更の有無
 - 「北の」とした意味
 - この計画での北海道の特質の有無
- 4 土壌改良について
- 環境に調和した土づくりの進め方
 - 道営農地開発事業での有機質資材使用中止の理由
- 5 新幹線問題について
- 北海道新幹線誘致に対する認識
 - 国の新幹線整備計画検討状況及び道の取組み
 - 新幹線建設費用の負担割合及び地域負担に対する見解
 - 並行在来線の取扱い
 - 今後の対応
 - オール北海道の課題として取り組むことへの見解
- 6 新千歳空港24時間運用について
- テストフライトの運行状況及びその際の航空機騒音の程度
 - 24時間運用実現に向けての地元への対応
 - 地元住民の理解を得ることに対する見解
 - 地域振興策の内容
 - 24時間運用体制確立の見通し
 - 24時間運用のための条件整備に対する見通し
- 7 教育問題について
- 中学での内申書の見直しの検討時期及び内容
 - 高校の総合学科開設に対する受止め
 - 新学科集合型高等学校と総合学科との関連
- 8 道警の体制強化について
- 職員の通訳能力向上等に対する見解
 - 情報・通信システム等の機能強化への対処

等について質問があり、知事、教育長及び警察本部長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時55分延会。

○6月28日（月） 午後2時10分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、一般質問に入り、清水 誠一議員（自民）から、

1 高等教育機関の整備等について

- 本道の高等教育機関の整備状況
- 本道の大学進学率が低い要因の調査の有無及び認識
- 道内高校卒業生の道内・道外大学への進学状況及び道外から道内への進学状況
- 大学進学者数の今後の推移
- 大学誘致のための新方針策定に対する見解
- 道内各地の大学設置への対処及び必要とする大学
- 航空宇宙大学・学科設置に向けての検討経過及び見通し並びに文部省との交渉状況
- 道立大学新設に対する見解
- 日赤の4年制看護単科大学設置構想への対応
- 大学設置に際しての道の支援措置
- 留学生の環境整備推進に対する見解
- 本道の大学進学率が低いことに対する認識
- 基礎学力向上へ向けての取組み
- 他府県の学力向上施策の把握状況
- 北海道高等学校長協会の提言に対する見解

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

小原 葉子議員（社会）から、

1 エイズ対策について

- 道内のエイズの現状に対する認識
- ボランティア組織、保健所等のカウンセリング育成に対する見解
- 道職員への知識の普及啓発に対する見解
- 医療従事者等への研修の取組み

2 北海道健康づくり指針について

- 指針中の女性に関する表現に対する見解

3 北海道女性の自立プランについて

- 子供向け副読本作成に対する見解
- 道職員の研修・啓発に対する見解
- 道主催集会における託児の設定に対する見解
- 女性の多様な生き方を配慮することに対する見解

4 国際先住民年について

- 国際先住民年に対する取組姿勢
- 道職員に対する講習の実施に対する見解

5 学校給食の牛乳容器について

- びんを使うことの利点
- 紙パック使用校の環境面での指導内容

等について質問があり、知事及び教育長から答弁があって、午後3時12分休憩、午後3時49分再開。

高橋 定敏議員（自民）から、

1 シベリア抑留死亡者の慰霊について

- この問題に対する受止め
- 慰霊巡拝実現に向けての対応
- 日本人墓地に関するロシア側との交渉の有無

2 新しい農山漁村の女性のめざす姿について

- 農山漁村における女性のめざすべき姿及び女性の役割
- 女性の地位向上のための取組み及びその成果
- 定期的・定額的に報酬を受け取っている女性基幹農業従事者数
- 農業者年金への女性の加入状況
- 女性の経済的地位向上へ向けての取組み
- 農山村花嫁の実態
- 女性の技術等の習得に向けての取組み
- 女性固有の称号による能力認定実施に対する見解

3 教育問題について

- 平成維新の会の掲げる教育論に対する見解

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があって、午後4時24分延会。

○6月29日（火） 午前11時24分開議、諸般の報告の後、

日程第1 報告第31号ないし第35号を議題とし、知事から提出説明。

日程第1の報告第31号ないし第35号にあわせ、

日程第2 議案第1号ないし第30号及び報告第1号ないし第3号を一括議題とし、一般質問を継続。

平井 進議員（自民）から、

1 自治体外交について

- 自治体外交に対する認識
- 海外出張の成果
- 海外出張の回数及び必要性に対する見解
- 海外出張への対応に対する見解

2 煙草の害と税について

- 禁煙推進と煙草税収入の矛盾の有無
- 禁煙対策の内容

3 離婚対策について

- 離婚原因の実態の把握状況及び本道の離婚率が高いことに対する認識
- 離婚に関する相談体制に対する見解
- 出稼労働者及び家族への対策

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

山口 幸太郎議員（自民）から、

1 北教組について

- 北教組の対抗戦術の実態及び把握状況
- 北教組に対する指導の適切性
- 北教組の対抗戦術は正の申入れ実施に対する見解
- 北教組の対抗戦術に対する感想

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から時間を要する旨発言があり、午後零時17分休憩、午後3時再開。知事及び教育長から答弁、同議員から発言。

風早 俊男議員（民政）から、

1 道立試験研究機関等について

- 現状に対する受止め
- 道民に対する研究機関の啓発及び研究体制整備の検討に対する見解
- 試験研究機関の表示改善に対する見解
- 研究成果等の啓発に対する見解
- 教育研究所の現状の評価及び課題

2 横路道政10年の軌跡と課題について

- 国際交流を進めてきた中での印象的事例
- 北方4島訪問の心構え及び交流内容
- この10年間の人口動態の受止め及び過疎問題への対処策
- 一村一品運動の見直しに対する見解
- 工業構造高度化の現状に対する受止め及び今後の取組み
- 在宅福祉充実にに対する見解
- 臓器移植に係る脳死に対する見解
- 地域医療における医療の高度化へ向けての見解
- 本道農業の現状課題及び重点施策
- 食料自給率向上のための対応
- 森林の育成・整備のための施策
- 道民生活の現況に対する受止め及び生活水準向上のための施策

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事から答弁。

大橋 晃議員（共産）から、

- 1 皇太子の結婚の儀等について
 - ・皇太子の結婚の儀等に対する認識
 - ・結婚の儀等に出席した理由
- 2 政治改革について
 - ・政治改革に関連した発言の真意
- 3 資産公開について
 - ・今回の国会議員の資産公開に対する感想
 - ・地方において資産公開を行うことの意義及び資産公開条例制定の基本方針並びにスケジュール
 - ・資産公開条例の内容に対する見解
- 4 軍縮及び軍事演習について
 - ・自衛隊の実弾射撃の回数及び騒音測定並びに結果公表に対する見解
 - ・政府への訓練縮小要求に対する見解及び農家への対策
- 5 中国人の強制連行問題について
 - ・中国人の強制連行実態調査実施に対する見解
 - ・中国への謝罪を国に要求することに対する見解
- 6 環境問題について
 - ・ラムサール会議でのNGOの役割
 - ・湿原保全のための協議機関設置に対する見解
 - ・湿原の環境影響調査実施義務付けに対する見解
 - ・農業廃水処理対策
 - ・釧路湿原周辺のゴルフ場数及び建設中・計画中のゴルフ場数並びに湿原保全への影響に対する認識
 - ・ゴルフ場の管理及びゴルフ場建設計画中止指導実施に対する見解
 - ・美々プロジェクト計画見直しに対する見解
- 7 ハイメックス構想について
 - ・構想実現の見通し及び見直しに対する見解
- 8 円高差益還元について
 - ・北電への差益還元及び電気料金引下げ要求に対する見解
- 9 建設業退職金共済制度への加入促進について
 - ・加入促進等に向けての取組み
- 10 火山噴火災害対策について
 - ・火山噴火災害危険区域予測図作成主体を市町村と考える理由及び道が中心となって作成することに対する見解
- 11 教育問題について

- ・社会教育施設無料化の調査結果及び無料化促進に対する見解
- ・教職員宅整備に対する認識
- ・宅の実態調査及び整備計画樹立の進め方

等について質問があり、知事及び教育長から答弁。同議員から再質問、知事及び教育長から答弁。同議員から再々質問、知事から答弁。あらかじめ会議時間を延長。

石川 十四夫議員（道政）から、

- 1 産炭地域振興実施計画について
 - ・産炭地域の現状に対する受止め
 - ・計画の実効性確保に向けての取組み
 - ・地域振興のための財政的支援実施に対する見解
- 2 夕張シューパロダム建設について
 - ・早期着工に向けた国への要請経過及び早期着工に対する見解
 - ・道営農地総合開発整備事業への農家参加に対する見解
- 3 消防総合訓練センターについて
 - ・各府県での訓練センターの必要性及び設置に対する認識
 - ・訓練センター設置促進のための国への働きかけ

等について質問があり、知事から答弁。同議員から再質問、知事から答弁があつて、質疑並びに質問を終結。

議長から、予算及び企業会計決算に関する案件について、本議会に31人をもって構成する予算特別委員会及び19人の委員をもって構成する企業会計決算特別委員会を設置し、関係案件を両特別委員会にそれぞれ付託の上、審査することを諮り、異議なく決定。次の委員を議長指名により選任。

○予算特別委員（31人）

萩原 信宏（共産）	板谷 実（民政）
川村 正（自民）	高橋 定敏（自民）
山口幸太郎（自民）	山崎 正隆（自民）
神戸 典臣（自民）	段坂 繁美（社会）
吉田 栄（社会）	井野 厚（社会）
鯉谷 忠（社会）	小池 昌（社会）
佐々木隆博（社会）	土田 弘（社会）
伊達 忠一（自民）	永井 利幸（自民）
和田 敬友（自民）	小野寺 勇（自民）
勝木 省三（自民）	吉川 貴盛（自民）
青山 章（自民）	木本 由孝（自民）
伊藤 武一（公明）	大平 盛雄（社会）

谷川 英雅（社会）	長岡 寅雄（社会）
吉野 之雄（社会）	青木 延男（社会）
工藤 啓二（公明）	中崎 昭一（自民）
古川 靖晃（自民）	

○企業会計決算特別委員（19人）

小原 葉子（社会）	上田 茂（自民）
川尻 秀之（自民）	平出 陽子（社会）
井野 厚（社会）	鈴木 泰行（社会）
高橋 一史（自民）	伊達 忠一（自民）
畠山 博（自民）	湯佐 利夫（自民）
青山 章（自民）	木本 由孝（自民）
水野 重男（民政）	森 敏捷（社会）
大島 一郎（社会）	菊地 芳郎（社会）
石川十四夫（道政）	高橋 鉦（公明）
中崎 昭一（自民）	

残余の案件については、議案付託一覧表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託した。

各委員会付託議案審査のため、6月30日から7月1日まで休会することに決定して、午後5時10分散会。

○7月2日（金） 午前11時49分開議、諸般の報告の後、

日程第1 議案第17号撤回の件を議題とし、異議なく本件を撤回することを承認。

日程第2 議案第1号ないし第16号、第18号ないし第30号及び報告第1号ないし第3号を議題とし、予算特別、総務、保健環境、建設、文教、商工労働観光各委員長から、それぞれ各委員会における付託議案の審査の経過と結果について報告の後、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から、議案第7号、第10号、第11号、第13号、第15号及び報告第1号に関する反対討論並びに議案第1号に関する賛成討論があつて、討論終結。

採決に入り、議案第7号、第10号、第11号、第13号、第15号及び報告第1号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって委員長報告のとおり議案は可決、報告は承認議決（共産反対）。

次に、議案第1号ないし第6号、第8号、第9号、第12号、第14号、第16号、第18号ないし第30号、報告第2号及び第3号を問題とし、異議なく委員長報告のとおり議案は可決、報告は承認議決。

日程第3 議案第34号及び第35号を議題とし、

知事から提出議案に関する説明の後、委員会付託を省略。

採決に入り、議案第34号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり同意議決（共産反対）。

次に、議案第35号を問題とし、異議なく原案のとおり同意議決。

日程第4 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙に入り、選挙の方法は指名推選によること及び指名の方法は議長において指名することを異議なく決定。議長より、工藤万砂美議員（自民）、勝木省三議員（自民）、山口真人議員（自民）、伊達忠一議員（自民）、鈴木泰行議員（社会）、浅野俊一議員（公明）を指名後、議長指名のとおり当選人とすることを異議なく決定。

日程第5 決議案第1号及び第2号を議題とし、大橋 晃議員（共産）から決議案第1号に関する提案説明、伊達忠一議員（自民）から決議案第2号に関する提案説明の後、大橋議員から決議案第2号に関する質疑があつて、質疑を終結。委員会付託を省略し、討論に入り、萩原信宏議員（共産）から決議案第2号に関する反対討論、森敏捷議員（社会）から決議案第2号に関する賛成討論があつて、討論終結。

採決に入り、決議案第1号を問題とし、起立採決の結果、起立少数をもって否決（自民、社会、公明、民政、道政反対）。

次に、決議案第2号を問題とし、起立採決の結果、起立多数をもって原案のとおり可決（共産反対）。

日程第6 意見案第2号及び第3号を議題とし、提案説明及び委員会付託を省略の上、異議なく原案のとおり可決。

閉会中継続審査の件について、企業会計決算特別委員長から申出のあつた報告第31号ないし第35号及び決算特別委員長から申出のあつた前会より継続審査中の報告第1号について、閉会中継続審査に付することを決定。

閉会中請願・陳情継続審査及び事務継続調査の件について、各常任委員長及び議会運営委員長並びに交通安全対策特別委員長から申出のとおり、閉会中継続審査または調査に付することを決定。

今期定例会に付議された案件は、報告第31号ないし第35号及び前会より継続審査中の報告第1号を除きすべて議了。

本日をもって閉会することを異議なく決定。

議長から閉会のあいさつがあつて、午後零時52分閉会。

予算特別委員長報告

私は、予算特別委員会に付託されました議案審査の経過と結果について御報告を申し上げます。

御承知のとおり、本委員会は6月29日に設置され、平成5年度各会計補正予算案5件が付託されたのでありますが、本委員会といたしましては、同日、直ちに正・副委員長の互選を行うとともに、審査の方法等について協議の結果、各部所管に対する審査については、分科会方式によりこれを行うこととし、直ちに、2分科会を設置し、それぞれの案件を付託した次第であります。

各分科会におきましては、同日、正・副委員長の互選を行った結果、

第1分科会は、委員長に 井野 厚君

副委員長に 山崎 正隆君

第2分科会は、委員長に 山口幸太郎君

副委員長に 佐々木隆博君

を選任するとともに、審査の方法等について協議を行い、6月30日、各部所管の審査に入り、同日をもって各分科会の一切の質疑を終了し、昨日の委員会において、各分科委員長より分科会における審査経過の報告書が提出された次第であります。

今回付託されました案件は、景気対策のための公共事業費及び道単独事業の追加措置に伴う経費などのほか、緊急に措置を要する経費について所要の措置を講じようとするものであり、その総額は1,419億1,100万円余に及ぶ補正予算でありまして、これらの案件を中心に、道政各般にわたり熱心な質疑が交わされた次第であります。

なお、各分科会における質疑の概要につきましては、別紙お手元に配付の報告書により御承知願いたいと存じます。

本委員会といたしましては、引き続き、各派代表者間におきまして、議案第1号ないし第5号について意見の調整を図りました結果、いずれも全会一致、原案可決と決定した次第であります。

以上、本委員会に付託されました議案の審査の経過と結果を申し上げ、私の報告を終わります。

第2回定例会において知事から提出のあった案件

議 案		提出月日	番 号	件 名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 18	1			平成5年度北海道一般会計補正予算（第1号）	予算特別	7. 2	原案可決
同	2			平成5年度北海道札幌医科大学医学部附属病院特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	3			平成5年度北海道小児総合保健センター事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	4			平成5年度北海道流域下水道事業特別会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	5			平成5年度北海道病院事業会計補正予算（第1号）	同	同	同
同	6			北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	7			北海道税条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	8			低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	9			北海道防災会議条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	10			北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	保健環境	同	同
同	11			北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案	同	同	同
同	12			北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案	建 設	同	同
同	13			北海道学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案	文 教	同	同
同	14			風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部を改正する条例案	総 務	同	同
同	15			特定多目的ダム法に基づく二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件	建 設	同	同
同	16			第三種空港（仮称新紋別空港）の設置及び管理に関する協議の件	同	同	同
同	17			工事請負契約の締結（道道砂川歌志内線道路改良〔神威トンネル〕工事）に関する件	同	同	撤 回
同	18			工事請負契約の締結（北海道札幌地区高等学校〔新学科集合型〕新築工事〔第1工区〕）に関する件	文 教	同	原案可決
同	19			工事請負契約の締結（北海道北見工業高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	20			工事請負契約の締結（北海道室蘭東高等学校改築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	21			工事請負契約の締結（北海道札幌地区高等学校〔新学科集合型〕新築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	22			工事請負契約の締結（北海道北見工業高等学校改築工事〔第2工区〕）に関する件	同	同	同
同	23			工事請負契約の締結（北海道新篠津高等養護学校新築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	24			工事請負契約の締結（北海道立近代文学館〔仮称〕新築工事〔第1工区〕）に関する件	同	同	同
同	25			工事委託契約の締結（函館湾流域下水道函館湾浄化センター・上磯中継ポンプ場建設工事）に関する件	建 設	同	同
同	26			財産の取得（物品・消防学校教育訓練用、救助工作車1台）に関する件	総 務	同	同
同	27			財産の取得（物品・医科大学医学部附属病院診療用、ライナック一式）に関する件	同	同	同
同	28			財産の取得（物品・中標津空港用、化学消防ポンプ自動車1台）に関する件	建 設	同	同

提月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 18	29	財産の取得（土地・北海道石狩地区高等学校用地）に関する件	文 教	7. 2	原案可決
同	30	財産の取得（土地・北海道釧根地区高等養護学校用地）に関する件	同	同	同
同	31	北海道副知事の選任につき同意を求める件		6. 21	同意議決
同	32	北海道出納長の選任につき同意を求める件		同	同
同	33	北海道人事委員会委員の選任につき同意を求める件		同	同
7. 2	34	北海道公安委員会委員及び方面公安委員会委員の選任につき同意を求める件		7. 2	同
同	35	北海道監査委員の選任につき同意を求める件		同	同

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6. 18	1	専決処分報告につき承認を求める件（北海道税条例の一部を改正する条例）平成5年3月31日専決処分	総 務	7. 2	承認議決
同	2	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道北見高等技術専門学院改築工事〕に関する件）平成5年5月18日専決処分	商工労働 観 光	同	同
同	3	専決処分報告につき承認を求める件（工事請負契約の締結〔北海道恵庭南高等学校屋内体育館新築工事〕に関する件）平成5年5月18日専決処分	文 教	同	同
同	4	平成4年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件			報告のみ
同	5	北海道住宅供給公社の経営状況に関する件			同
同	6	北海道土地開発公社の経営状況に関する件			同
同	7	財団法人北海道農業開発公社の経営状況に関する件			同
同	8	社団法人北海道中小企業振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	9	財団法人北海道体育文化協会の経営状況に関する件			同
同	10	財団法人北海道公害防止基金協会の経営状況に関する件			同
同	11	財団法人北海道水産加工振興基金協会の経営状況に関する件			同
同	12	社団法人北海道産炭地域振興センターの経営状況に関する件			同
同	13	財団法人北海道私立高等学校奨学会の経営状況に関する件			同
同	14	社団法人北海道軽種馬振興公社の経営状況に関する件			同
同	15	財団法人北海道ボランティア振興協会の経営状況に関する件			同
同	16	財団法人北方圏交流基金の経営状況に関する件			同
同	17	財団法人北海道中小企業振興公社の経営状況に関する件			同
同	18	財団法人北海道埋蔵文化財センターの経営状況に関する件			同
同	19	財団法人北海道開拓の村の経営状況に関する件			同
同	20	財団法人北海道高齢者問題研究協会の経営状況に関する件			同
同	21	財団法人北海道森林整備公社の経営状況に関する件			同
同	22	財団法人食の祭典委員会の経営状況に関する件			同
同	23	財団法人北海道住宅管理公社の経営状況に関する件			同
同	24	財団法人テクノポリス函館技術振興協会の経営状況に関する件			同
同	25	財団法人北海道長寿社会振興財団の経営状況に関する件			同

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
6.18	26	財団法人道民活動振興センターの経営状況に関する件			報告のみ
同	27	財団法人北海道生活文化振興基金の経営状況に関する件			同
同	28	財団法人北海道暴力追放センターの経営状況に関する件			同
同	29	土地信託の事務処理状況に関する件			同
同	30	専決処分報告の件（損害賠償の額の決定、平成5年5月26日1件、平成5年6月14日6件専決処分）			同
6.29	31	平成4年度北海道病院事業会計決算に関する件	企業会計 決算特別	7.2	継続審査
同	32	平成4年度北海道有林野事業会計決算に関する件	同	同	同
同	33	平成4年度北海道電気事業会計決算に関する件	同	同	同
同	34	平成4年度北海道工業用水道事業会計決算に関する件	同	同	同
同	35	平成4年度北海道工業団地開発事業会計決算に関する件	同	同	同

前会から継続審査中の案件

報 告

提出月日	番号	件名	付託委員会	議決月日	議事結果
4.12.1	1	平成3年度北海道各会計歳入歳出決算に関する件	決算特別	5.7.2	継続審査

第2回定例会において議員から提出のあった案件

決 議 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
7.2	1	企業・団体献金の禁止、定数の抜本是正を求める決議	大橋 晃議員 ほか1人	7.2	否 決
同	2	政治改革の早期実現を求める決議	伊達 忠一 議員 賛成者4人	同	原案可決

意 見 案

提出月日	番号	件名	提出者	議決月日	議事結果
6.18	1	稲作経営の安定に関する意見書	大野新生議員 ほか13人	6.21	原案可決
7.2	2	石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書	土田 弘議員 ほか14人	7.2	同
同	3	北方領土問題等の解決促進に関する意見書	永井利幸議員 ほか12人	同	同

決 議 案

決議案第2号 政治改革の早期実現を求める決議

平成5年2定
伊達 忠一議員提出
賛成者4人
平成5年7月2日原案可決

政治改革関連法案が、国会解散により廃案となったことは誠に遺憾である。

いま、国民の政治に対する不信はかつてなく高まっている。国民が強く求めてやまないのは、政治倫理の確立や、企業、団体献金の段階的禁止、政治腐敗の防止、選挙制度の改正など政治改革の実現である。

こうした国民の声を真摯に受け止め、金権腐敗政治に決別し、国民の期待に応える政治改革の早期実現を求めるものである。

右決議する。

平成 年 月 日

北海道議会

意 見 案

意見案第1号 稲作経営の安定に関する意見書

平成5年2定
大野 新生議員ほか13人提出
平成5年6月21日原案可決

我が国の主食である米の安定供給を確保するため、食糧管理制度の根幹と国内完全自給の方針を堅持するとともに、我が国の米の主産地として「おいしくて・安い米づくり」を目指す本道稲作の振興を図るため、左記事項を実現されるよう強く要望する。

記

1 米の国内自給について

- (1) ガット・ウルグアイ・ラウンド農業交渉における、最終合意文書案にある国境措置に關しての「包括的な関税化」は、農畜産物の完全自由化につながるので、これを拒否し、米の国内完全自給方針を堅持すること。
- (2) 米加工品については、秩序ある輸入が行われるよう、関係業界に対して適切な指導を行うこと。

2 平成5年産米の政府買入価格について

5年産米の政府買入価格については、稲作農業が将来とも意欲をもって生産に取り組めるよう、所得の確保と経営の安定に十分配慮して決定すること。

3 米の需給均衡化対策について

米の需給均衡を図るため、次の諸対策を推進すること。

(1) 水田営農活性化対策

- ・転作等目標面積の中長期的固定
- ・水田営農活性化助成補助金等の確保

- (2) 米の制度別・用途別需給均衡化対策
 - ・需要動向を反映した「自主流通計画」の策定指導
 - ・制度別・用途別需給均衡化特別対策事業の拡充
 - ・特に他用途利用米の生産・集荷措置の拡充・強化
- (3) 米消費拡大対策
 - ・米需要拡大対策予算の拡充
 - ・学校給食用自主流通米助成対象への「もち米」の追加
- 4 稲作経営の体質強化対策について

生産性が高く、体質の強い稲作経営の育成を図るため、次の諸対策を推進すること。

 - (1) 農業農村整備の促進
 - ・農業農村整備事業の計画的かつ円滑な推進
 - ・農業農村整備事業に対する地方財政措置の拡充・強化等による地元負担の軽減
 - (2) 農地流動化促進対策の充実
 - ・農地保有合理化事業制度の充実・強化
 - ・譲渡所得の税率を軽減する特例制度の創設
 - (3) 農業金融対策の拡充・強化
 - ・経営継承を円滑に進めるための資金制度の創設
 - ・新規就農を促進するための特別融資制度の創設
 - (4) 米生産・流通施設の整備促進
 - ・米の品質向上と流通コスト削減のための施設整備に対する助成制度の拡充
 - ・種子生産団地の整備に係る事業予算枠の確保
 - (5) 試験研究の充実
 - ・高品質な品種の開発及び重要政策課題に向けた研究開発の強化
 - (6) 農業生産資材価格対策の充実
 - ・農業機械、肥料等生産資材の価格低減と安定供給のための強力な行政指導と施策の充実

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 若 狭 靖

内閣総理大臣、農林水産大臣 各通

意見案第2号 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書

〔平成5年2定
土田 弘議員ほか14人提出
平成5年7月2日原案可決〕

本道の石炭鉱業は、構造調整を基本とする新しい石炭政策の下、最近の円高の進行に伴う内外炭価格差の拡大などから、更に、厳しさを増してきているが、石炭鉱業は地域の基幹産業として、依然として大きな役割を果たしており、稼業炭鉱地域では、その存続と安定を強く願っている。

一方、他の産炭地域も過去の閉山・合理化の影響を受け、人口の流出、地方財政の悪化等多くの課題を抱え、依然として厳しい状況にある。

このようなことから、産炭地域の総合的な振興を図る「産炭地域振興実施計画」の実効性の確保はもちろん、現行石炭政策の柱の一つである、石炭企業の経営の多角化・新分野開拓の地元での展開に大きな期待を寄せている。

については、このような石炭鉱業並びに産炭地域の厳しい実情をご理解いただき、今後の施策の実施並びに平成6年度の予算編成に当たり、次の事項について特段の措置を講ぜられるよう強く要望する。

記

1 石炭対策財源の確保

「石炭並びに石油及びエネルギー需給構造高度化対策特別会計」の特定財源による石炭関係予算の安定的な確保を図るとともに、石炭鉱業安定対策並びに産炭地域振興対策への重点配分を図ること。

2 現存炭鉱存続のための各種施策の充実強化

現存炭鉱の存続と石炭鉱業の安定を図るため、需要の確保、適切な炭価の設定、各種助成措置の充実強化、露頭炭業者等に対する配慮などの措置を講ずること。

3 石炭企業等の経営多角化等に対する支援の強化

石炭企業等が行う経営の多角化等による経営基盤の強化や、地域対策への支援などが図られるよう、各種助成措置を強化するとともに制度の弾力的運用を図ること。

4 国際的技術協力

国際的技術協力に資するため、現存炭鉱を活用した石炭技術の研究・研修施設等を本道に設置すること。

5 産炭地域振興対策の強化

産炭地域の振興対策を図るため、産炭地域振興実施計画の実効性の確保、地域活性化対策の促進、炭鉱跡地等の再開発、企業誘致の促進、地域振興整備公団の機能強化、水利権の譲渡、総合保養地域整備法の適用などの措置を講ずること。

6 地方自治体への財政援助

産炭地域市町村の財政の安定を図るため、産炭地域振興臨時交付金制度の拡充強化、閉山又は大規模な縮小、合理化が行われた産炭地市町村に対する新たな地域活性化資金制度の創設、地方交付税制度の拡充強化などの措置を講ずること。

7 雇 用 対 策

雇用対策等の充実強化を図るため、経営の多角化、新分野開拓に伴う職業転換訓練、配置転換、出向等を行う事業主に対する助成制度の拡充強化をはじめ、地元雇用の創出、職業能力の開発、下請離職者対策などの措置を講ずること。

8 中小商工業者対策の充実強化

産炭地域振興臨時交付金構造調整地区中小商工業者対策調整額制度の貸付条件の緩和、既往貸付金の償還猶予等の措置を講ずること。

9 炭鉱跡地ずり山鉱害の抜本策

炭鉱跡地ずり山の土砂流出を鉱害による緊急事態とみなし、抜本的な恒久対策を早急に立て、工事が実施されるよう配慮すること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜井 外 治

内閣総理大臣、大蔵大臣、通商産業大臣	} 各通
労働大臣、建設大臣、自治大臣	
北海道開発庁長官、国土庁長官	

意見案第3号 北方領土問題等の解決促進に関する意見書

平成5年2定
永井 利幸議員ほか12人提出
平成5年7月2日原案可決

我が国固有の領土である歯舞、色丹及び国後、択捉等の北方領土の返還実現は、日本国民の長年の悲願であるにもかかわらず、戦後47年を経た今日においてもなお未解決であり、日露両国間に平和条約が締結されていないことは誠に遺憾である。

また、平成3年4月に行われた日ソ首脳会談の結果、日ソ共同声明の中に「領土確定の問題」の存在と、その範囲として歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方4島が明記されたが、領土返還については今後の外交交渉に委ねられた。

よって、政府においては、北方領土返還の実現を求める外交交渉を加速して、早期に平和条約を締結し、日露両国間の真に安定的な友好関係を確立するとともに、次の事項につき適切な措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 1、国民世論の統一と高揚を図るため、全国的な啓発運動を推進すること。
- 1、「北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律」に基づく振興対策の充実強化を図ること。
- 1、北方地域旧漁業権に対する補償措置を早急に講ずること。
- 1、北方領土元居住者等に対する融資等援護措置の充実強化を図ること。
- 1、北方領土墓参については、希望地域で実施できるようにすること。

右地方自治法第99条第2項の規定により提出する。

平成 年 月 日

北海道議会議長 桜井 外 治

内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣 } 各通
総務庁長官、北海道開発庁長官 }

請 願 ・ 陳 情

① 第2回定例会において各常任・特別委員会に付託されたもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
75	網走市藻琴、女満別町巴沢、美幌町、津別町、東藻琴村などのゴルフ場造成計画の中止を求める件	ゴルフ場問題を考える網走の会 会長 武田 章	総 務	継続審査
76	児童福祉法に基づく保育制度の拡充を求める意見書の提出に関する件	憲法・児童福祉法を守り保育の公的保障の拡充を求める運動北海道実行委員会 代表 島崎 正幸	生活福祉	同
77	年金制度の改善を求める国への意見書提出に関する件	全日本年金者組合北海道地方本部 代表 鈴木 好 外17名	同	同

② 継続審査中のものであって、第2回定例会において採否の決定があったもの。

請 願

文書表 番 号	件 名	請 願 者	付託委員会	審査の結果
63	保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件	北海道民主医療機関連合会 会長 森谷 尚行(外1件)	生活福祉	議決不要
74	保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件	北海道母親大会連絡会 実行委員長 池田 米子 (外10件)	同	同

陳 情

文書表 番 号	件 名	陳 情 者	付託委員会	審査の結果
13	公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件	函館地方漁網団体連絡協議会 佐々木昌平	水産林務	議決不要

委員会の動き

議会運営委員会

- 5月11日（火） 開議 午後3時1分
散会 午後3時3分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- 1 元議員の逝去について
 - ・大島仁三郎氏の逝去（留萌市選出、第16期在職、3月31日逝去）、岩瀬正人氏の逝去（千歳市選出、第22期在職、4月9日逝去）、島田 薫氏の逝去（空知支庁選出、第17期～19期在職、4月23日逝去）について報告。
 - 2 工事請負契約の締結について
 - ・総務部長から発言があり、工事請負契約の締結に関する専決処分を了承。

- 6月11日（金） 開議 午後1時14分
散会 午後1時18分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- 1 元議員の逝去について
 - ・東 典俊氏の逝去（留萌市選出、第18期～21期在職、5月25日逝去）について報告。
 - 2 第2回定例会について
 - ・招集期日を6月18日とすることを了承。
 - ・会期は18日間とする。
 - ・総務部長から、提出予定案件について説明。
 - ・人事案件は、招集日当日に先議する。
 - ・日程について、次のとおり取り進める。

▽ 第2回定例会

- | | |
|---------|-------------------------|
| 6月18日 | 本会議（提案説明） |
| 19日～22日 | 休 会 |
| 23日 | 本会議（常任・議運・特別委員選任） |
| 24日 | 本会議（代表質問） |
| 25日 | 本会議（代表・一般質問） |
| 26日・27日 | 休 会 |
| 28日・29日 | 本会議（一般質問） |
| 30日 | 本会議（一般質問、予算・企業会計決算特別委員会 |

設置)

7月1日～4日 休 会
5日 本会議

- 3 代表質問について
 - ・順位を自民、社会、公明、民政とする。
 - ・各会派の発言時間使用状況について報告。
- 4 委員会構成等について
 - ・常任、議会運営、特別各委員会の委員及び正副委員長の各派配分数は、理事会協議のとおりとする。
 - ・各委員名簿及び辞任届の提出は、6月21日正午までとする。
- 5 議会運営に関する検討事項について
 - ・検討事項を次期議会運営委員会に参考資料として申し送る。

- 6月17日（木） 開議 午後1時43分
散会 午後1時45分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- 1 第2回定例会提出議案について
 - ・総務部長から説明。
 - ・提出議案の上程時期等については、改めて協議する。
- 2 代表質問の通告について
 - ・6月22日正午までとする。
- 3 一般質問について
 - ・順位は、従来の例による。
 - ・通告は、6月23日正午までとする。
- 4 予算及び企業会計決算特別委員会について
 - ・委員会構成及び正副委員長の配分は、配付資料のとおりとする。
 - ・共産・道政の間で委員配分を調整し、結果を後日報告する。
 - ・委員名簿は、6月28日正午までに提出する。
- 5 6月18日の本会議の議事順序は明日協議する。

- 6月18日（金） 開議 午前9時39分
散会 午後9時45分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- 1 本日の本会議について
 - ・開会までに、なお時間を要する。午前9時40分休憩、午後4時15分再開。
 - ・取り敢えず本会議を開会し、会議録署名議員

の指定、会期決定の件を議決した後、休憩する。

- 吉田代表監査委員が、入院期間中本会議に出席できず、斎藤監査委員が出席する旨了承。
- 2 本日の本会議の議事順序について
- 事務局長説明のとおりとする。午後4時16分休憩、午後9時43分再開。
- 3 本日の本会議について
- 正副議長の選挙を行うことは困難なため、本日の本会議は、この程度にとどめ、残余の日程を延期し、延会する。
- 6月21日午後1時から本会議を開会する。

○6月21日（月） 開議 午後1時20分
散会 午後1時25分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）

- 1 議長及び副議長の辞職願について
- 本日付けをもって、若狭議長及び青木副議長から辞職願の提出があった旨報告の後、それぞれ挨拶。
- 辞職願は、本日の本会議で許可する。
- 辞職願を許可した場合は、本日の本会議で選挙を行う。
- 2 選挙の方法について
- 投票により行い、単記無記名とする。
- 委員長から、次の4人の委員を立会人に指名。
野呂善市委員（自民） 長沢 徹委員（社会）
乙川節郎委員（公明） 風早俊男委員（民政）
- 白票は、投票総数には算入するが、有効投票には算入しない。
- 3 知事提出議案について
- 提案説明は、本日、正副議長選挙後に行う。
- 議案第31号ないし第33号は、提案説明後、先議する扱いとする。
- 4 意見案の取扱いについて
- 意見案第1号の提出があり、本日の本会議で議決する。
- 5 人事委員長代理の本会議欠席について
- 廣岡人事委員長代理が、都合により本日の本会議を欠席する旨了承。
- 6 休会について
- 議案調査のため、6月22日休会し、6月23日再開する。
- 7 本日の本会議の議事順序について

- 事務局長説明のとおりとする。

- 6月23日（水） 開議 午前9時45分
閉会 午後3時35分
議会運営委員会室
委員長 湯佐 利夫（自民）
- 開議に先立ち、桜井議長及び保格副議長から挨拶。
- 1 本日の本会議について
 - 準備に時間を要する。午前9時46分休憩、午後3時32分再開。
 - 2 議席の一部変更について
 - 配付議席表のとおり、議席の一部を変更する。
 - 3 会派役員の異動について
 - 自民、社会及び公明から役員の異動届の提出があったこと並びに他の会派は役員の異動がない旨報告。
 - 4 議会運営委員会及び特別委員会の各委員の辞任許可について
 - 委員全員から辞任願の提出があり、議長が本日、これを許可する旨報告。
 - 5 委員名簿について
 - 常任委員、議会運営委員及び特別委員の各委員名簿については、各派より配付のとおり提出があり、本日の本会議において選任する。
 - 6 本日の本会議の議事順序について
 - 事務局長説明のとおりとする。
- 委員長から委員会の閉会にあたって挨拶。次に、総務部長から挨拶があつて閉会。

~~~~~

— 委 員 改 選 後 —

- 6月23日（水） 開議 午後4時24分  
散会 午後4時29分  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）
- 1 委員長の互選について
  - 山崎正隆臨時委員長（自民）から、委員長互選の方法について諮り、西本美嗣委員（社会）の動議により、指名推薦の方法をもって、吉川貴盛委員（自民）を委員長に選出。
  - 2 副委員長の互選について
  - 委員長から、副委員長互選の方法について諮

り、高橋一史委員（自民）の動議により、指名推薦の方法をもって、長沢徹委員（社会）を副委員長に選出。



吉川貴盛委員長



長沢 徹副委員長

### 3 理事会について

- ・自民及び社会は各2名、公明及び民政は各1名の計6名の理事を選出し、その協議により運営する。
- ・理事は、高橋一史委員（自民）、釣部勲委員（自民）、西本美嗣委員（社会）、佐藤寛一委員（社会）、伊藤武一委員（公明）、風早俊男委員（民政）とする。

### 4 諸派について

- ・理事会を開き、協議する。

○6月24日（木） 開議 午前9時54分  
散会 午後3時46分  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）

開議に先立ち、桜井議長及び格副議長から挨拶。

### 1 諸派の取扱いについて

- ・今期における本委員会及び理事会の出席については、委員外議員として出席を認める。
- ・発言は、特に必要があると認め、その意見を求めるとき及び発言の申出があったときは会議に諮り許可するという申合せを再度、確認する。

- ・委員外議員出席は、前期と同様に円卓内に席を設ける。

### 2 委員席及び委員外議員席について

- ・現在着席のとおりとする。

### 3 代表質問について

- ・通告（4人）について報告。
- ・本日2人、明日2人行う。

### 4 一般質問について

- ・通告（9人）について報告。
- ・諸派の順位を今回は共産、道政の順とする。
- ・個人別順位について、議事課長説明のとおりと

とする。

- ・6月25日1人、28日2人、29日4人、30日2人の予定で行う。

### 5 本日の本会議の議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。午前9時59分休憩、午後3時45分再開。

### 6 佐藤時雄議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、時間を要する旨発言。

### 7 本日の本会議について

- ・この程度にとどめ延会する。

○6月25日（金） 開議 午前9時49分  
散会 午前11時15分  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）

### 1 昨日の佐藤時雄議員（自民）の再質問に対する答弁準備の状況について

- ・総務部長から、時間を要する旨発言があり、午前9時50分休憩、午前11時14分再開。
- ・総務部長から、答弁準備ができた旨発言。
- ・本日の本会議は佐藤議員の再質問に対する知事の答弁から入る。

### 2 代表質問及び一般質問について

- ・通告内容等の変更を了承。
- ・本日代表質問4人（1人継続）、28日一般質問3人行い、その後の進め方は改めて協議する。

### 3 本日の本会議について

- ・代表質問4人（1人継続）行い、延会する。

○6月28日（月） 開議 午後1時30分  
散会 午後1時32分  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）

### 1 追加提出予定案件について

- ・総務部長から説明。
- ・明日追加提出する。

### 2 一般質問について

- ・通告内容等の変更を了承。
- ・本日3人行い、その後の進め方は明日協議する。

### 3 本日の本会議の議事順序について

- ・事務局長説明のとおりとする。

○6月29日（火） 開議 午前10時54分  
散会 午前11時  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）

- 1 追加提出議案について
  - ・総務部長から説明。
  - ・本日の本会議の冒頭で、知事の提案説明を行う。
- 2 一般質問の通告内容等の変更を了承。
- 3 今定例会の日程の変更について
  - ・以下のように変更。

6月29日 本会議（一般質問、予算・企業会計決算特別委員会設置）

6月30日

～7月1日 休 会

2日 本会議

3日～4日 休 会

5日 本会議

- 4 一般質問の進め方について
  - ・本日5人行う。
- 5 予算及び企業会計決算特別委員会について
  - ・両特別委員会を、本日一般質問終了後設置する。
  - ・諸派の委員配分について、共産は予算特別委員、道政は企業会計決算特別委員とする。
  - ・予算特別委員会各会派別分科委員数は、配付資料のとおり決定した旨報告。
  - ・配付名簿のとおり委員を選任する。
- 6 議案の各委員会付託について
  - ・事務局長説明のとおりとする。
- 7 休会について
  - ・各委員会付託議案審査のため、6月30日から7月1日まで休会し、7月2日再開する。
- 8 本日の本会議の議事順序について
  - ・事務局長説明のとおりとする。

○7月2日（金） 開議 午前10時55分  
散会 午前11時2分  
議会運営委員会室  
委員長 吉川 貴盛（自民）

- 1 議案第17号の撤回について
  - ・総務部長から説明。
  - ・本日の本会議において撤回を承認する。
- 2 各委員会付託議案の審議状況について

- ・すべて議了した旨報告。
- 3 閉会中継続審査について
    - ・企業会計決算特別委員会で審査中の報告第31号ないし第35号を継続審査とすることに決定した旨報告。
  - 4 決算特別委員会の審議状況について
    - ・前会より継続審査中の報告第1号を継続審査とすることに決定した旨報告。
  - 5 追加提出議案について
    - ・総務部長から説明。
    - ・議案第34号及び第35号の人事案件については、本日の本会議において議決する。
  - 6 石狩湾新港管理組合議会議員の補欠選挙について
    - ・自民、社会及び公明から補充選任したい旨申出があった旨報告。
    - ・本日の本会議において選挙を行う。
    - ・選挙の方法は指名推せんによる。
    - ・指名の方法は議長において指名する。
  - 7 決議案及び意見案の取扱いについて
    - ・決議案第1号及び第2号の提出があり、本日の本会議において議決する。
    - ・意見案第2号及び第3号の提出があり、本日の本会議において議決する。
  - 8 閉会中継続調査申出について
    - ・会議規則第80条の規定により、閉会中継続調査を申し出る。
  - 9 議会運営に関する検討事項について
    - ・各派で今後の議会運営に関し申合せの必要がある事項について提起し、理事会で検討する。
    - ・各派の意見等を8月の一斉委員会開会日まで提出し、第3回定例会招集にかかる議会運営委員会開催日に理事会を開き協議する。
  - 10 今期定例会について
    - ・付議案件議了のため、本日で閉会する。
  - 11 本日の本会議の議事順序について
    - ・事務局長説明のとおりとする。



# 常任委員会

## 総務委員会

○4月6日(火) 開議 午後1時25分  
散会 午後1時32分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長から、地方税法改正に伴う道税条例の改正に係る専決処分について報告。
- ② 警察本部刑事部長から、暴力団対策法施行後の総合対策の推進状況について報告。

○5月11日(火) 開議 午後1時46分  
散会 午後1時54分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

### 一般議事

- ① 企画振興部長から、地方拠点都市地域の選定について報告。
- ② 警察本部地域部長から、中央警察署豊平橋警察官派出所放火事件について報告。

○6月1日(火) 開議 午後1時39分  
散会 午後1時45分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

### 一般議事

- 総務部長から、釧路沖地震被害状況について報告。

○6月17日(木) 開議 午前10時24分  
散会 午前10時32分  
第5委員会室  
委員長 平井 進(自民)

### 一般議事

- ① 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成5年第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員交替に伴う引継事項について、異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後5時1分  
散会 午後5時44分  
第5委員会室  
委員長 畠山 博(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に畠山 博委員(自民)、副委員長に佐藤寛一委員(社会)を選出。



畠山 博委員長



佐藤寛一副委員長

- ② 理事に加藤和久委員(自民)、段坂繁美委員(社会)、高橋 鉦委員(公明)、板谷 実委員(民政)を選出。

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 前委員会から引継ぎを受けたことを報告。
- ③ 総務部長、企画振興部長、警察本部総務部長、出納局長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長及び監査委員事務局長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時21分  
散会 午後3時42分  
第5委員会室  
委員長 畠山 博(自民)

### 付託案件の審査

#### 議案第6号

北海道恩給条例臨時特例等の一部を改正する  
条例案 (原案可決)

#### 議案第7号

北海道税条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

#### 議案第8号

低開発地域工業開発地区等における道税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

#### 議案第9号

北海道防災会議条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

#### 議案第14号

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する

る法律施行条例の一部を改正する条例案  
(原案可決)

議案第26号

財産の取得に関する件 (原案可決)

議案第27号

財産の取得に関する件 (原案可決)

報告第1号

専決処分報告につき承認を求める件  
(承認議決)

一 般 議 事

- ① 北海道納税推進運動本部委員に佐藤副委員長、加藤和久委員(自民)、段坂繁美委員(社会)、高橋 鉦委員(公明)、板谷 実委員(民政)を推薦。
- ② 総務部長、企画振興部長及び警察本部総務部長から、平成6年度北海道関係開発予算要望の概要について説明。
- ③ 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

生 活 福 祉 委 員 会

○4月6日(火) 開議 午後1時16分  
散会 午後1時22分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

請願・陳情の審査

請願第63号

保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件 (議決不要)

請願第74号

保険で「良い入れ歯」の医療が受けられるよう改善を求める件 (議決不要)

○5月11日(火) 開議 午後1時48分  
散会 午後2時50分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- ① 生活福祉部長から、平成5年度サハリン地域

(樺太) 墓参について説明。

- ② 大橋 晃委員(共産)から質疑

- (1) 生活保護受給者の預貯金について
  - (2) 老人保健福祉計画と財源対策について
  - (3) 今年度の特別養護老人ホームの内示状況について
- (関連して、山口真人委員(自民)から質疑)

○6月1日(火) 開議 午後1時35分  
散会 午後2時5分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- ① 生活福祉部長から、国際先住民年の取組みについて報告。
- ② 大橋 晃委員(共産)から質疑  
視聴覚障害者のTV字幕・解説について

○6月17日(木) 開議 午前10時20分  
散会 午前11時17分  
第9委員会室  
委員長 工藤 啓二(公明)

一 般 議 事

- ① 生活福祉部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員交替に伴う引継ぎ事項について諮り、異議なく決定。
- ③ 大橋 晃委員(共産)から質疑  
保育問題について

○6月23日(水) 開議 午後4時50分  
散会 午後5時21分  
第9委員会室  
委員長 乙川 節郎(公明)

正副委員長の互選

- ① 委員長に乙川節郎委員(公明)、副委員長に菅原功一委員(自民)を選出。



乙川節郎委員長



菅原功一副委員長

- ② 理事に清水誠一委員(自民)、吉田 栄委員

(社会)を選出。

なお、共産党についてはオブザーバーの扱いとすることを決定。

#### 一 般 議 事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴い事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 生活福祉部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時10分  
散会 午後3時25分  
第9委員会室  
委員長 乙川 節郎(公明)

#### 一 般 議 事

- ① 北海道地方社会福祉審議会委員に、菅原副委員長、吉田 栄委員(社会)を推薦。  
北海道児童福祉審議会委員に、乙川委員長、清水誠一委員(自民)を推薦。  
北海道国民健康保険審査会委員に、高橋康之委員(自民)を推薦。  
北海道青少年問題協議会委員に、鈴木泰行委員(社会)、萩原信宏委員(共産)を推薦。
- ② 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ④ 生活福祉部長から、平成6年度北海道開発予算要望事項について説明。
- ⑤ 生活福祉部長から、平成5年度サハリン地域(樺太)墓参について報告。
- ⑥ 生活福祉部長から、道民生活安定条例施行状況報告について説明。

### 保 健 環 境 委 員 会

○4月6日(火) 開議 午後1時17分  
散会 午後2時59分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、保健所機能の充実方策に係る意見書について報告。  
萩原信宏委員(共産)から質疑

② 保健環境部長から、札幌圏都市計画事業屯田中部土地区画整理事業に係る環境影響評価の実施結果について報告。

③ 保健環境部長から、絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の概要について報告。

④ 加藤和久委員(自民)から質疑  
MRSAについて  
小原葉子委員(社会)から質疑  
資源リサイクルの取組みについて  
萩原信宏委員(共産)から質疑  
喫煙問題について

○5月11日(火) 開議 午後1時45分  
散会 午後2時10分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、北海道健康づくり指針の策定について報告。
- ② 保健環境部長から、石狩川水系当別ダム建設事業に係る環境影響評価の実施結果について報告。
- ③ 萩原信宏委員(共産)から質疑及び要望  
老人病院について

○6月1日(火) 開議 午前10時15分  
散会 午前10時55分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

#### 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、ラムサール条約締約国会議の概要について報告。
- ② ラムサール条約締約国会議へ理事以上の派遣について決定。
- ③ 小原葉子委員(社会)から質疑  
先端技術産業に係る環境保全について  
萩原信宏委員(共産)から質疑  
石狩浜の「すぐれた砂丘」地域の保全について

○6月17日(木) 開議 午前10時12分  
散会 午前10時34分  
第3委員会室  
委員長 輪島 幸雄(社会)

## 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 保健環境部長から、一般道道増毛当別線暑寒道路に係る環境影響評価の実施結果について報告。  
萩原信宏委員（共産）から質疑
- ③ ラムサール条約締約国会議の出席について報告。
- ④ 委員交替に伴う引継ぎ事項について諮り、異議なく決定。

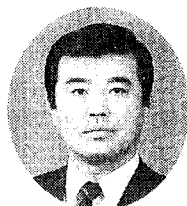
○6月23日（水） 開議 午後4時53分  
散会 午後5時21分  
第3委員会室  
委員長 高橋 庸（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋 庸委員（社会）、副委員長に高橋文明委員（自民）を選出。



高橋 庸委員長



高橋文明副委員長

- ② 理事に伊藤条一委員（自民）、小原葉子委員（社会）を選出。

なお、共産党についてはオブザーバーの扱いとすることを決定。

## 一 般 議 事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴い事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 保健環境部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日（木） 開議 午後3時15分  
散会 午後3時40分  
第3委員会室  
委員長 高橋 庸（社会）

### 付託案件の審査

#### 議案第10号

北海道立衛生学院等看護職員課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例案（原案可決）

#### 議案第11号

北海道看護職員養成修学資金貸付条例の一部を改正する条例案（原案可決）

大橋 晃委員（共産）から質疑

看護職員への修学資金貸付条例の一部改正の目的と内容について

## 一 般 議 事

- ① 保健環境部長から、公害の状況等に関する年次報告について説明。
- ② 請願・陳情について、今後付託されるものを含め閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ④ 保健環境部長から、平成6年度北海道開発予算要望事項について報告。
- ⑤ 平成6年度国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑥ 北海道医療審議会委員に、高橋副委員長を推薦。

北海道献血推進協議会委員に、伊藤条一委員（自民）、大橋 晃委員（共産）を推薦。

北海道赤十字血液センター運営委員会委員に、高橋委員長、西本美嗣委員（社会）を推薦。

北海道公害対策審議会委員に、木本由孝委員（自民）、小原葉子委員（社会）を推薦。

北海道自然環境審議会委員に、平井 進委員（自民）、輪島幸雄委員（社会）を推薦。

## 商工労働観光委員会

○4月6日（火） 開議 午後1時15分  
散会 午後1時30分  
第8委員会室  
委員長 関根 建二（社会）

## 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長及び企業局長から、組織機構の一部改正について報告。
- ② 商工労働観光部長から、北海道地域輸入促進計画について報告。

○5月11日（火） 開議 午後1時45分  
散会 午後1時59分  
第8委員会室  
委員長 関根 建二（社会）

### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、道立北見高等技術専門学院改築工事の請負契約の専決処分について報告。
- ② 商工労働観光部長から、特定中小企業集積の活性化に関する計画の承認について報告。
- ③ 「北海道フェア・イン・ウラジオストク」に伊達副委員長の派遣を決定した旨報告。

○6月1日(火) 開議 午前10時16分  
散会 午前10時24分  
第8委員会室  
委員長 関根 建二(社会)

### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、平成4年度本道観光客入込み調査の概要について報告。
- ② 商工労働観光部長から、道立北見高等技術専門学院改築工事の請負契約に係る専決処分について報告。

○6月17日(木) 開議 午前10時29分  
散会 午前10時41分  
第8委員会室  
委員長 関根 建二(社会)

### 一 般 議 事

- ① 商工労働観光部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、委員交替に伴う引継事項について、理事会の結果を説明し、原案のとおり異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後4時49分  
散会 午後5時23分  
第8委員会室  
委員長 菊地 芳郎(社会)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に菊地芳郎委員(社会)、副委員長に石井孝一委員(自民)を選出。



菊地芳郎委員長



石井孝一副委員長

- ② 理事に山口幸太郎委員(自民)、平出陽子委員(社会)、吉田恵悦委員(公明)を選出。

なお、道政クラブについてはオブザーバーの扱いとすることを決定。

### 一 般 議 事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交替に伴う事務引継を受けた旨報告。
- ③ 商工労働観光部長、企業局長及び地方労働委員会事務局長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時15分  
散会 午後3時33分  
第8委員会室  
委員長 菊地 芳郎(社会)

### 付託案件の審査

報告第2号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

### 一 般 議 事

- ① 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ③ 「先端技術産業等の立地に関する専門委員会」の特別委員に菊地委員長、石井副委員長を推薦。
- ④ 商工労働観光部長から、平成6年度北海道開発関係予算要望の概要について説明。  
久田恭弘委員(自民)から質疑
- ⑤ 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

### 農 政 委 員 会

○4月6日(火) 開議 午後1時23分  
散会 午後1時35分  
第7委員会室  
委員長 大野 新生(自民)

### 一 般 議 事

- ① 酪農畜産振興施策に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、平成5年度畜産物価格等につ

いて報告。

○5月11日（火） 開議 午後1時43分  
散会 午後1時51分  
第7委員会室  
委員長 大野 新生（自民）

#### 一般議事

- ① 平成5年産麦の政府買入価格に関する中央折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、新北海道花き生産振興方針について説明。

○6月1日（火） 開議 午後1時35分  
散会 午後1時42分  
第7委員会室  
委員長 大野 新生（自民）

#### 一般議事

- ① 平成5年産麦の政府買入価格等に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 農政部長から、農作物の生育状況について説明。

○6月17日（木） 開議 午前10時23分  
散会 午前10時35分  
第7委員会室  
委員長 大野 新生（自民）

#### 一般議事

- ① 稲作経営の安定に関する意見案の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 農政部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ③ 農政部長から、平成5年産麦の政府買入価格について説明。
- ④ 委員長から、委員の交替に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることを諮り、異議なく決定。

○6月23日（水） 開議 午後4時49分  
散会 午後5時8分  
第7委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に神戸典臣委員（自民）、副委員長に水野重男委員（民政）を選出。
- ② 理事に山崎正隆委員（自民）、高橋由紀雄委



神戸典臣委員長



水野重男副委員長

員（社会）を選出。

なお、道政クラブはオブザーバーの扱いとすることを決定。

#### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、配付のとおり前委員会から事務引継ぎを受けた旨を報告。
- ③ 農政部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日（木） 開議 午後3時15分  
散会 午後3時32分  
第7委員会室  
委員長 神戸 典臣（自民）

#### 一般議事

- ① 農政部長から、平成6年度農業関係国費予算要望事項について説明。  
吉野之雄委員（社会）から質疑
- ② 平成6年度農業関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。
- ④ 農政部長から、農作物の生育状況等について説明。  
古川靖晃委員（自民）から要望
- ⑤ 農作物の作況調査の実施を決定。

## 建設委員会

○4月6日（火） 開議 午後1時29分  
散会 午後1時44分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三（自民）

#### 一般議事

- ① 土木部長から、「海の祭典」実施計画について説明。
- ② 石井孝一委員（自民）から質疑  
(1) 景気対策に係る道の補正予算について

(2) 早期発注に対する土木部長の決意について

○5月11日(火) 開議 午後1時46分  
散会 午後1時50分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三(自民)

#### 一般議事

○ 住宅都市部長から、「きたぐに住宅地」報告書について説明。

○6月1日(火) 開議 午後1時35分  
散会 午後1時38分  
第4委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 森 敏捷(社会)

#### 一般議事

○ 土木部長から、「財団法人北海道建設技術センター」の設立について説明。

○6月17日(木) 開議 午前10時23分  
散会 午前10時50分  
第4委員会室  
委員長 勝木 省三(自民)

#### 一般議事

- ① 土木部長及び住宅都市部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、平成5年度の公共事業執行状況について報告。
- ③ 委員長から、改選後の新委員会に対する引継事項について、理事会決定どおりとすることを諮り、異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後4時50分  
散会 午後5時22分  
第4委員会室  
委員長 綿貫 健輔(自民)

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に綿貫健輔委員(自民)、副委員長に



綿貫健輔委員長



佐々木隆博副委員長

佐々木隆博委員(社会)を選出。

- ② 理事に川尻秀之委員(自民)、伊藤政信委員(社会)、浅野俊一委員(公明)、風早俊男委員(民政)を選出。

#### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。
- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時19分  
散会 午後3時47分  
第4委員会室  
委員長 綿貫 健輔(自民)

#### 付託案件の審査

議案第12号  
北海道屋外広告物条例の一部を改正する条例案 (原案可決)

議案第15号  
特定多目的ダム法に基づく二風谷ダム及び平取ダムの建設に関する基本計画の変更についての意見に関する件 (原案可決)

議案第16号  
第3種空港(仮称新紋別空港)の設置及び管理に関する協議の件 (原案可決)

議案第25号  
工事請負契約の締結に関する件 (原案可決)

議案第28号  
財産の取得に関する件 (原案可決)

#### 一般議事

- ① 議案第17号「工事請負契約の締結に関する件」の撤回の申出について報告、これを了承し、審査しないこととすることを決定。

- ② 北海道開発審査会委員及び北海道建築審査会委員に綿貫委員長を推薦。

北海道住宅対策審査会委員に綿貫委員長、川尻秀之委員(自民)、伊藤政信委員(社会)、浅野俊一委員(公明)を推薦。

北海道住宅供給公社運営委員会委員に佐々木副委員長、川口常人委員(自民)を推薦。

北海道土地開発公社土地開発推進委員会委員に綿貫委員長、伊藤政信委員(社会)を推薦。

- ③ 土木部長及び住宅都市部長から、平成6年度北海道開発関係予算の概要について説明。
- ④ 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ⑤ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ⑥ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 水産林務委員会

○4月6日(火) 開議 午後1時20分  
散会 午後1時35分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- ① 水産部長から、平成4年度さけ・ます漁業の減船について報告。
- ② 林務部長から、平成5年度北海道木材需給の見通しについて説明。

○5月11日(火) 開議 午後1時50分  
散会 午後2時5分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- ① 水産部長から、北海道漁業協同組合合併等基本構想及び推進方針について説明。
- ② 水産部長から、平成5年の太平洋小型さけ・ます流し網漁業並びにロシア200海里内での19トン型漁船の操業について報告。
- ③ 林務部長から、平成5年春の緑化行事の概要について説明。

○6月1日(火) 開議 午後1時36分  
散会 午後1時43分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 請願・陳情の審査

#### 陳情第13号

公海流し網漁業の禁止に伴う関連産業の救済を求める件 (議決不要)

### 一般議事

- 水産部長から、平成5年のロシア200海里内

での19トン型漁船によるサケ・マス流し網漁業の操業について説明。

○6月17日(木) 開議 午前10時25分  
散会 午前10時37分  
第2委員会室  
委員長 吉野 之雄(社会)

### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、委員の交替に伴う引継事項について、理事会決定のとおりとすることを諮り、異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後4時41分  
散会 午後5時12分  
第2委員会室  
委員長 神本 三也(社会)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に神本三也委員(社会)、副委員長に佐藤時雄委員(自民)を選出。



神本三也委員長



佐藤時雄副委員長

- ② 理事に川村 正委員(自民)、岡本 修委員(社会)、工藤啓二委員(公明)、藤沢一雄委員(民政)を選出。

### 一般議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、配付のとおり前委員会から事務引継ぎを受けた旨を報告。
- ③ 水産部長及び林務部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時14分  
散会 午後3時29分  
第2委員会室  
委員長 神本 三也(社会)

### 一般議事

- ① 水産部長及び林務部長から、平成6年度水産林務関係国費予算にかかる主要要望事項について



て説明。

- ② 平成6年度水産林務関係国費予算に関する中央折衝の実施を決定。
- ③ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 文 教 委 員 会

○4月6日(火) 開議 午後1時35分  
散会 午後2時19分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀(自民)

### 一 般 議 事

- 教育長及び企画室長から、北海道生涯学習推進基本構想について説明。  
笠島 保委員(社会)及び平出陽子委員(社会)から質疑

○5月11日(火) 開議 午後1時46分  
散会 午後1時48分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀(自民)

### 一 般 議 事

- 教育長から、専決処分予定事業について事前説明。

○6月1日(火) 開議 午後1時36分  
散会 午後1時38分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀(自民)

### 一 般 議 事

- 教育長から、専決処分事業について報告。

○6月17日(木) 開議 午前10時26分  
散会 午前10時37分  
第10委員会室  
委員長 酒井 芳秀(自民)

### 一 般 議 事

- ① 教育長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 委員長から、改選後の新委員会に対する引継事項について、理事会決定どおりとすることを諮り、異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後4時50分  
散会 午後5時20分  
第10委員会室  
委員長 山口 真人(自民)

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に山口真人委員(自民)、副委員長に岩井正明委員(社会)を選出。



山口真人委員長



岩井正明副委員長

- ② 理事に上田 茂委員(自民)、三津丈夫委員(社会)、伊藤武一委員(公明)、小野秀夫委員(民政)を選出。

### 一 般 議 事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。
- ③ 教育長、企画管理部長及び学事課長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後3時17分  
散会 午後3時33分  
第10委員会室  
委員長 山口 真人(自民)

### 付託案件の審査

#### 議案第13号

北海道学校職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例案(原案可決)

#### 議案第18号ないし第24号

工事請負契約の締結に関する件(原案可決)

#### 議案第29号及び第30号

財産の取得に関する件(原案可決)

#### 報告第3号

専決処分報告につき承認を求める件

(承認議決)

### 一 般 議 事

- ① 北海道文化振興委員会委員に山口委員長及び岩井副委員長を推薦。
- ② 教育長、企画管理部長及び学事課長から、平成6年度北海道開発関係予算概算要求の概要について説明。

- ③ 平成6年度北海道開発予算概算要求に関する中央折衝の実施を決定。
- ④ 請願・陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。  
新沼 浩委員（自民）から意見。
- ⑤ 所管事務について、閉会中継続調査の申出をすることを決定。

## 特 別 委 員 会

### 総合開発調査特別委員会

- 4月7日（水） 開議 午前10時19分  
散会 午前10時39分  
第1委員会室  
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 北海道新幹線の早期建設に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 大橋 晃委員（共産）から質疑
- (1) 推進計画におけるバランスのとれた地域づくりに対する推進状況について
- (2) 離島航路の運賃と航送料助成について
- (3) 離島のプロパンガスの運賃助成について

- 5月12日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時18分  
第1委員会室  
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 企画振興部長から、地方拠点都市地域の選定について報告。
- ② 景気対策の充実、高規格幹線道路の整備、北海道新幹線の早期着工等に関する中央折衝の実施を決定。

- 6月2日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時25分  
第1委員会室  
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 北海道開発予算に関する中央折衝の実施概要の報告を了承。
- ② 北海道新幹線早期着工実現緊急東京大会への出席を決定。  
大橋 晃委員（共産）から質疑

- 6月17日（木） 開議 午前11時30分  
散会 午後零時2分  
第1委員会室  
委員長 久田 恭弘（自民）
- ① 参事監から、新千歳空港24時間運用について報告。

- ② 委員交替に伴う引継事項について、異議なく決定。
- ③ 委員長から、北海道新幹線早期着工実現緊急東京大会の出席について報告。
- ④ 大橋 晃委員（共産）から質疑  
千歳川放水路について

○ 6月23日（水） 開議 午後6時  
散会 午後6時20分  
第1委員会室  
委員長 平井 進（自民）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に平井 進委員（自民）、副委員長に井野 厚委員（社会）を選出。



平井 進委員長



井野 厚副委員長

- ② 理事に高橋文明委員（自民）、高橋定敏委員（自民）、森 敏捷委員（社会）、三津丈夫委員（社会）、吉田恵悦委員（公明）、小野秀夫委員（民政）を選出。

なお、道政クラブはオブザーバーの扱いとすることを決定。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 前委員会から引継ぎを受けたことを報告。
- ③ 企画振興部長から、所管事務の概要について説明。

○ 7月1日（木） 開議 午後4時2分  
散会 午後4時22分  
第1委員会室  
委員長 平井 進（自民）

- ① 企画振興部長から、平成6年度北海道開発関係予算要望について説明。

久田恭弘委員（自民）から要望。

(1) 北海道新幹線の着工に向けアクセスに対する文言の検討方

(2) 新経済政策に対する施策の盛り込み

- ② 平成6年度北海道開発関係予算に関する中央折衝の実施を決定。

### 石炭対策特別委員会

○ 4月7日（水） 開議 午前10時43分  
散会 午前11時10分  
第5委員会室

委員長 谷川 英雅（社会）

- ① 商工学働観光部長から、三井芦別炭鉱の閉山対策について報告。
- ② 石川十四夫委員（道政）から質疑  
産炭地振興策について

○ 5月12日（水） 開議 午前10時15分  
散会 午前10時23分  
第5委員会室

委員長 谷川 英雅（社会）

- 商工労働観光部長から、平成5年度石炭鉱業合理化実施計画及び基準炭価等について報告。

○ 6月17日（木） 開議 午前11時32分  
散会 午前11時36分  
第5委員会室

委員長 谷川 英雅（社会）

- 委員長から、委員交替に伴う引継事項について、理事会の結果を説明し、原案のとおり異議なく決定。

○ 6月23日（水） 開議 午後6時  
散会 午後6時24分  
第5委員会室  
委員長 土田 弘（社会）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に土田 弘委員（社会）、副委員長に釣部 勲委員（自民）を選出。



土田 弘委員長



釣部 勲副委員長

- ② 理事に加藤和久委員（自民）、川尻秀之委員（自民）、長沢 徹委員（社会）、高橋由紀雄委員（社会）、伊藤武一委員（公明）、藤沢一雄委員（民政）を選出。

なお、道政クラブについてはオブザーザーの扱いとすることを決定。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交替に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 商工労働観光部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後4時4分

散会 午後4時11分

第5委員会室

委員長 土田 弘(社会)

- ① 石炭鉱業の安定並びに産炭地域の振興に関する意見書の発議及び中央折衝の実施を決定。
- ② 産炭地域6団体連絡協議会による代表者大会への出席及び中央折衝の実施を決定。
- ③ 北海道石炭対策連絡会議による中央折衝の実施を決定。
- ③ 石川十四夫委員(道政)から要望。  
消防総合訓練センターの誘致について

#### 北方領土対策特別委員会

○4月7日(水) 開議 午前10時14分

散会 午前10時24分

第3委員会室

委員長 水岡 薫(自民)

- ① 北方領土返還促進に関する中央要請並びに国会請願の実施を決定。
- ② 領対本部長から、本年度の北方四島交流事業について説明。
- ③ 山口真人委員(自民)から要望  
国の概算要求までの委員会の対応について

○5月12日(水) 開議 午前10時14分

散会 午前10時44分

第3委員会室

委員長 水岡 薫(自民)

- ① 北方領土返還促進に関する中央要請並びに国会請願に関する報告を了承。
- ② 領対本部長から、第3期北方領土隣接地域の振興及び住民の安定に関する計画について説明。  
板谷 実委員(民政)及び小野寺 勇委員(自

民)から質疑

- ③ 領対本部長から、北方四島交流推進事業について説明。

山口真人委員(自民)から質疑

- ④ 第1回、第2回北方四島訪問団に委員会から委員を派遣することを決定。

○6月2日(水) 開議 午前10時14分

散会 午前10時18分

第3委員会室

委員長 水岡 薫(自民)

- ① 第1回、第2回北方四島訪問に関する実施概要の報告を了承。
- ② 領対本部長から、北方四島交流推進事業について説明。

○6月17日(木) 開議 午前11時30分

散会 午前11時40分

第3委員会室

委員長 水岡 薫(自民)

- ① 領対本部長から、第3期北方領土隣接地域の振興及び住民の生活の安定に関する計画の承認について報告。
- ② 委員長から、改選後の新委員会に対する引継事項について、理事会決定どおりとすることを諮り、異議なく決定。

○6月23日(水) 開議 午後5時53分

散会 午後6時15分

第3委員会室

委員長 永井 利幸(自民)

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に永井利幸委員(自民)、副委員長に鰐谷 忠委員(社会)を選出。



永井利幸委員長



鰐谷 忠副委員長

- ② 理事に山崎正隆委員(自民)、吉田 栄委員(社会)、工藤啓二委員(公明)、板谷 実委員(民政)を選出。

### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴う事務引継を受けた旨報告。
- ③ 総務部長及び水産部長から、所管事務の概要について説明。

○ 7月1日（木） 開議 午後3時53分  
散会 午後3時58分  
第3委員会室  
委員長 永井 利幸（自民）

- ① 「北方領土問題等の解決促進に関する意見案」の発議を決定。
- ② 領対本部長から、平成6年度北方領土対策関係国費予算に係る要望の概要について説明。
- ③ 開発予算に係る中央折衝の実施を決定。

### エネルギー問題調査特別委員会

○ 4月7日（水） 開議 午前10時16分  
散会 午前10時26分  
第5委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 乙川 節郎（公明）

- ① 議席を決定。
- ② エネルギー事情に関する道外調査の実施概要の報告を了承。
- ③ 渋谷澄夫委員（社会）から質疑及び要望。  
旧ソ連による核廃棄物の日本海への投棄問題について

○ 6月2日（水） 開議 午前10時13分  
散会 午前10時22分  
第5委員会室  
委員長 中川 義雄（自民）

○ 商工労働観光部長から、新エネルギー・新技術による電源開発等の概要について報告。  
渋谷澄夫委員（社会）から意見及び要望。

○ 6月17日（木） 開議 午前11時47分  
散会 午前11時50分  
第5委員会室  
委員長 中川 義雄（自民）

○ 委員長から、委員交替に伴う引継事項につい

て、理事会の結果を説明し、原案のとおり異議なく決定。

○ 6月23日（水） 開議 午後6時36分  
散会 午後6時53分  
第5委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 風早 俊男（民政）

### 正副委員長の互選

- ① 委員長に中川隆之委員（自民）、副委員長に風早俊男委員（民政）を選出。



中川隆之委員長



風早俊男副委員長

- ② 理事に野呂善市委員（自民）、山口幸太郎委員（自民）、西本美嗣委員（社会）、小原葉子委員（社会）、浅野俊一委員（公明）を選出。

### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 副委員長から、委員交替に伴う事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 商工労働観光部長から、所管事務の概要について説明。

### 交通安全対策特別委員会

○ 4月7日（水） 開議 午前10時7分  
散会 午前10時16分  
第2委員会室  
委員長 大島 一郎（社会）

- ① 生活福祉部長から、当面の交通安全運動の取組みについて説明。
- ② 警察本部交通部長から、平成5年3月末の交通事故の発生状況等について報告。

○ 5月12日（水） 開議 午前10時17分  
散会 午前10時30分  
第2委員会室  
委員長 大島 一郎（社会）

- ① 生活福祉部長から、当面の交通安全運動の取

組みについて説明。

- ② 警察本部交通部長から、平成5年4月末の交通事故の発生状況及び当面の防止対策について報告。
- ③ 警察本部交通部長から、平成4年度冬期のスリップ事故発生状況について報告。

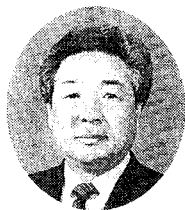
○6月17日(木) 開議 午前11時36分  
散会 午前11時46分  
第2委員会室  
委員長 大島 一郎(社会)

- ① 警察本部交通部長から、第2回定例会提出予定案件について説明。
- ② 警察本部交通部長から、交通事故の概況について報告。
- ③ 委員交替に伴う引継ぎ事項について諮り、異議なく決定。

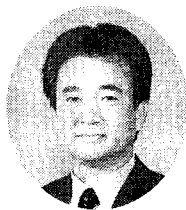
○6月23日(水) 開議 午後5時55分  
散会 午後6時16分  
第2委員会室  
委員長 小池 昌(社会)

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に小池 昌委員(社会)、副委員長に上田 茂委員(自民)を選出。



小池 昌委員長



上田 茂副委員長

- ② 理事に、明田辰義委員(自民)、伊藤条一委員(自民)、岩井正明委員(社会)、伊藤政信委員(社会)、乙川節郎委員(公明)、水野重男委員(民政)を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。
- ② 委員長から、委員交代に伴い事務引継ぎを受けた旨報告。
- ③ 生活福祉部長及び警察本部交通部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日(木) 開議 午後4時  
散会 午後4時5分

#### 第2委員会室

委員長 小池 昌(社会)

- ① 陳情について、閉会中継続審査の申出をすることを決定。
- ② 警察本部交通部長から、交通安全施設整備事業の北海道開発予算要望について説明。
- ③ 警察本部交通部長から、平成5年上半年期の交通事故概況について報告。

#### 過疎地域振興対策特別委員会

○4月7日(水) 開議 午前11時15分  
散会 午前11時34分  
第1委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 鯉谷 忠(社会)

- ① 地域振興室長から、平成4年度辺地及び過疎対策事業債充当状況について報告。  
水野重男委員(民政)から質疑
- ② 新沼 浩委員(自民)から要望  
資料の前日配付について
- ③ 地域振興室長から、離島振興計画の策定について報告。  
湯佐利夫委員(自民)から質疑

○5月12日(水) 開議 午前11時4分  
散会 午前11時37分  
第1委員会室  
委員長事故のため  
副委員長 鯉谷 忠(社会)

- ① 地域振興室長から、平成4年度市町村振興補助金の配分状況について報告。
- ② 地域振興室長から、平成4年度辺地及び過疎対策事業債充当状況について報告。
- ③ 佐藤時雄委員(自民)から質疑
  - (1) 過疎対策の施策の成果
  - (2) 過疎地域の現状と要因
  - (3) 道央圏への人口集中など不均衡な状況への認識
  - (4) 中核都市の機能を高め、都市と農山漁村の連携強化による地域の発展に対する取組み方
  - (5) 道立施設の過疎市町村への分散配置への取組状況
  - (6) 地域の特性を踏まえた重点的な支援に対す

る所見

- (7) 過疎地域の活性化を図るための今後の取り組み

湯佐利夫委員（自民）から要望。

国土庁による四全総改定検討の動向把握と道としての政府への要望方法等の報告方。

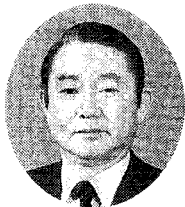
○6月17日（木） 開議 午後零時18分  
散会 午後零時20分  
第1委員会室  
委員長 工藤万砂美（自民）

- 委員交替に伴う引継事項について、異議なく決定。

○6月23日（水） 開議 午後6時35分  
散会 午後6時49分  
第1委員会室  
委員長 高橋 鉦（公明）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に高橋 鉦委員（公明）、副委員長に高橋文明委員（自民）を選出。



高橋 鉦委員長



高橋文明副委員長

- ② 理事に神戸典臣委員（自民）、加藤和久委員（自民）、深田義勝委員（社会）、岡本 修委員（社会）、水野重男委員（民政）を選出。

#### その他の議事

- ① 議席を決定。  
② 前委員会から引継ぎを受けたことを報告。  
③ 企画振興部長から、所管事務の概要について説明。

○7月1日（木） 開議 午後4時16分  
散会 午後4時28分  
第2委員会室  
委員長 高橋 鉦（公明）

- ① 企画振興部地域振興室長から、平成6年度国費予算関係の過疎地域活性化、山村振興及び離島振興に関する要望について説明。  
② 平成6年度国費予算要望に関する中央折衝の実施を決定。

## 予算特別委員会

○6月29日（火） 開議 午後5時15分  
散会 午後5時26分  
第1委員会室  
委員長 小池 昌（社会）

#### 正副委員長の互選

- ① 委員長に小池 昌委員（社会）、副委員長に永井利幸委員（自民）を選出。  
② 付託案件に対する審査方法について、2分科会を設置し質疑を行うこととし、第1分科会は委員15人、所管は総務部、企画振興部、生活福祉部、保健環境部、人事委員会、公安委員会、出納局、監査委員及び企業局、第2分科会は委員15人、所管は商工労働観光部、農政部、土木部、住宅都市部、水産部、林務部及び教育委員会とすること、各分科会に付託する案件は配付の付託議案一覧のとおりとすること、各分科会における質疑保留事項に対する総括質疑は、本委員会において行うことを決定。  
③ 各分科会の委員について、配付の委員名簿のとおり選出。

#### ○第1分科会委員（15人）

|           |           |
|-----------|-----------|
| 板谷 実（民政）  | 川村 正（自民）  |
| 山崎 正隆（自民） | 神戸 典臣（自民） |
| 吉田 栄（社会）  | 井野 厚（社会）  |
| 鯉谷 忠（社会）  | 伊達 忠一（自民） |
| 勝木 省三（自民） | 青山 章（自民）  |
| 大平 盛雄（社会） | 長岡 寅雄（社会） |
| 青木 延男（社会） | 工藤 啓二（公明） |
| 中崎 昭一（自民） |           |

#### ○第2分科会委員（15人）

|           |           |
|-----------|-----------|
| 萩原 信宏（共産） | 高橋 定敏（自民） |
| 山口幸太郎（自民） | 段坂 繁美（社会） |
| 佐々木隆博（社会） | 土田 弘（社会）  |
| 永井 利幸（自民） | 和田 敬友（自民） |
| 小野寺 勇（自民） | 吉川 貴盛（自民） |
| 木本 由孝（自民） | 伊藤 武一（公明） |
| 谷川 英雅（社会） | 吉野 之雄（社会） |
| 古川 靖晃（自民） |           |

- ④ 各分科会に分科委員長のほか分科副委員長を置くこと、分科委員の辞任及び補充選任並びに所属変更については本委員長において行うことを決定。
- ⑤ 付託案件の審査日程について、配付の日程表のとおりとすることを決定。
- ⑥ 質疑の方法等について、通告の形式により一括して行うこと、一問一答形式により行う場合は委員長に申し出ること、発言の順位は本会議の一般質問に準ずることを決定。
- ⑦ 委員外議員発言の取扱いについて、議員からの発言の申出があった場合、その都度委員会に諮り決定することとし、発言を許可した場合は、委員の質疑終了後に発言することを決定。
- ⑧ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。
- ⑨ 本委員会の運営に当たり正副委員長及び各分科会の正副委員長をもって構成する理事会を設置し、その協議により運営すること、正副委員長の配分のない会派及び諸派についても出席願うことを決定。



## 第 1 分 科 会

○ 6 月 29 日（火） 開議 午後 5 時 28 分  
散会 午後 5 時 37 分  
第 1 委員会室  
第 1 分科委員長  
井野 厚（社会）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に井野 厚委員（社会）、分科副委員長に山崎正隆委員（自民）を選出。
- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明、民政各 1 名、計 4 名の理事を選び、その協議により行うことを決定。理事に、川村 正委員（自民）、鯉谷 忠委員（社会）、工藤啓二委員（公明）、板谷 実委員（民政）を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとする

ことを決定。

○ 6 月 30 日（水） 開議 午前 11 時 25 分  
閉会 午後 2 時 33 分  
第 1 委員会室  
第 1 分科委員長

井野 厚（社会）

- ① 生活福祉部所管に対する質疑に入り、  
高橋 定敏委員（自民）から、  
ボランティア活動について

- ・ボランティア活動の基本的な考え方等
- ・有償のボランティア活動
- ・道内のボランティア活動者数及び目標値
- ・ボランティア活動に取り組む人が少ない理由
- ・ボランティア活動に取組むための環境整備
- ・ボランティアプラザの設置等
- ・ボランティアプラザの整備
- ・道職員の参加状況及び実態の把握
- ・道職員への情報提供
- ・ボランティア活動の今後の取組みに対する決意

等について、質疑、意見及び要望があり、生活福祉部長、生活文化課参事及び地域福祉課長から答弁があって、公安委員会、企業局、保健環境部及び生活福祉部所管に対する質疑を終結。

- ② 企画振興部所管に対する質疑に入り、

乙川 節郎委員（公明）から、

J R 学園都市線の複線化について

- ・ J R 北海道における札幌都市圏の中の学園都市線の位置付け
- ・ J R 北海道における学園都市線の混雑緩和の対策状況
- ・ 学園都市線複線化についての道などの取組み経緯
- ・ 複線化の具体的効果
- ・ 国の鉄道整備基金の無利子貸付制度の内容及び他県の整備例
- ・ 今後の道の支援方策
- ・ 道の支援の具体的時期
- ・ 早期着工方

等について

風早 俊男委員（民政）から、

地域振興策について

- ・ 過疎・過密現象への受止め及び地域振興策の基本・原点として対処すべき施策



- ・「交流人口」が話題となっている背景
- ・この10年間で人口減少率、高齢者比率の高い市町村とその理由及び地域振興施策の状況
- ・道内における都市と地方との地域連携の現状と課題
- ・都市圏と農山漁村の共生等地域振興に対する道の指導力
- ・地域振興の原点、発想のポイントと具体的な進め方
- ・イベントと連動した地域振興
- ・道内のリゾート構想の実現性と現在の道内のリゾートへの入込み人数
- ・中富良野リゾート開発「裏会計」問題の事実関係と道の対応
- ・北海道のスキー場の数と入込み数及び今後の開設計画
- ・道内のゴルフ場の数及び最近の入場者数と採算性
- ・「ゴルフ場等に係る会員契約の適正化に関する法律」の要点
- ・許可済みのゴルフ場開発の状況
- ・道南圏での具体的な海のイベントの企画等
- ・レジャーボート等による各港訪問のサンセット北海道などの企画に対する感想
- ・町と町を結ぶ並木ロードの企画検討への所見
- ・地域振興策にかかわる決意

等について、質疑、意見及び要望があり、企画振興部長、企画室長、地域振興室長、経済調査室長、地域振興課長、土地水対策課長、地域調整課長、市町村課長及び地域調整課参事から答弁があって、企画振興部、人事委員会、出納局、監査委員及び総務部所管に対する質疑を終結。

- ③ 付託案件に対する分科委員長報告については、分科委員長に一任することを決定。

## 第 2 分 科 会

○ 6 月 29 日（火） 開議 午後 5 時 29 分  
散会 午後 5 時 38 分  
第 2 委員会室  
第 2 分科委員長

山口幸太郎（自民）

### 正副委員長の互選

- ① 分科委員長に山口幸太郎委員（自民）、分科

副委員長に佐々木隆博委員（社会）を選出。

- ② 付託案件の審査日程、質疑の方法について決定。
- ③ 本分科会の運営について、自民、社会、公明各 1 名計 3 名の理事を選び、その協議により行うこと、共産党についてはオブザーバーとして理事会に出席願うことを決定。理事に、高橋定敏委員（自民）、土田 弘委員（社会）、伊藤武一委員（公明）を選出。
- ④ 分科委員外委員及び委員外議員の発言の取扱いについては、その都度分科会に諮り決定することとした。
- ⑤ 議席について、配付の議席表のとおりとすることを決定。

○ 6 月 30 日（水） 開議 午後 2 時 16 分  
閉会 午後 5 時 32 分  
第 2 委員会室  
第 2 分科委員長

山口幸太郎（自民）

- ① 土木部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

- 1 二風谷ダムについて
  - ・ダム建設の基本計画
  - ・基本計画変更承認の根拠
  - ・意見書「なお書き」の意味
  - ・関係各部の意見集約
  - ・不服審査請求
  - ・道及び関係町の負担
  - ・給水量 25 万トンの使用目的
  - ・平取ダムの必要性
- 2 土木管理行政について
  - ・ヤミ献金及び使途不明金に関する認識
  - ・使途不明金の公表
  - ・指名、発注状況
  - ・指名停止
  - ・議案の取下げ

等について質疑、意見及び要望があり、土木部長、管理課長及び河川課長から答弁があって、土木部及び土地収用委員会所管に対する質疑を終結。

- ② 農政部所管に対する質疑に入り、

萩原 信宏委員（共産）から、

新農政にかかる関連 2 法等について

- ・経営基盤強化法と特定農山村活性化法に対する認識と本道農業に与える影響

- ・経営基盤強化促進基本方針の策定スケジュールと北海道農業に関する「めざす姿」との関連
- ・特定農山村活性化法における米づくり
- ・国営事業の計画見直しと実態把握
- ・基盤整備事業における農家負担の軽減措置

等について、質疑、意見及び要望があり、農政部長から答弁があって、農政部及び住宅都市部所管に対する質疑を終結。

③ 商工労働観光部所管に対する質疑に入り、  
加藤 和久委員（自民）から、

- 1 金利自由化について
  - ・該当商品及びその取扱い
  - ・金融機関や中小企業者への影響
  - ・中小企業向け金融機関への対応
  - ・制度融資の在り方
  - ・保証協会の取扱い及び斡旋手続きの簡素化
- 2 観光行政について
  - ・観光産業の重要性の認識
  - ・観光客の入込みと観光振興策
  - ・国際観光の振興
  - ・観光産業振興資金の融資枠設定
  - ・融資条件の緩和
  - ・制度融資の調査、検討の目途
- 3 道立高等技術専門学院の再編整備について
  - ・分校化後の地域に対する指導助言の内容及び進捗状況
  - ・人材開発型施設への転換に伴う諸問題
  - ・名寄及び岩内技術専門学院の具体的状況
  - ・今後の分校化の在り方

等について

山口 真人委員（自民）から、  
大店法について

- ・これまでの道の対応についての認識及び今後の対応方針

等について、質疑、意見及び要望があり、商工労働観光部長から答弁があって、商工労働観光部、地方労働委員会、水産部、海区漁業調整委員会、連合海区漁業調整委員会及び内水面漁場管理委員会所管に対する質疑を終結。

④ 教育委員会所管に対する質疑に入り、  
大橋 晃委員（共産）から、

- 1 就学援助について
  - ・給付対象基準
  - ・国の基準を越えて対応している市町村の実態
  - ・スキー授業の際にスキーケースを補助対象と

すること

- ・校外活動等を補助対象とすること
- ・道の単独補助の可能性

2 危険校舎の改築について

- ・道立高校における危険校舎改築基準
- ・改築の現状と今後の計画

3 道立小樽水産高校の改築計画について

- ・早期改築の可能性
- ・改築基準の見直し
- ・家庭科男女必修化に伴う増改築計画
- ・耐力度調査の再調査の有無
- ・改築時期の再検討
- ・現地改築する場合の用地買収

等について質疑、意見及び要望があり、教育長、企画管理部長、生涯学習部長、学校管理課長及び施設課長から答弁があって、教育委員会及び林務部所管に対する質疑を終結。

⑤ 付託案件に対する分科委員長報告については  
分科委員長に一任することを決定。

~~~~~

○7月1日（木） 開議 午前10時43分

散会 午前10時50分

第1委員会室

委員長 小池 昌（社会）

- ① 各分科委員長から、それぞれ分科会における審査の経過について報告。
- ② 付託案件に対する意見の調整は、各派代表者会議において行うことを決定。
- ③ 各派代表者会議における意見調整の結果、意見の一致をみた旨報告の後、議案第1号ないし第5号を一括議題とし原案のとおり可決することを決定。
- ④ 付託案件に対する委員長報告について、委員長に一任することを決定。
- ⑤ 委員長から付託案件の審査終了に当たり、あいさつがあって閉会。

議会運営及び各常任・特別委員会委員名簿

(平成5年6月23日現在)

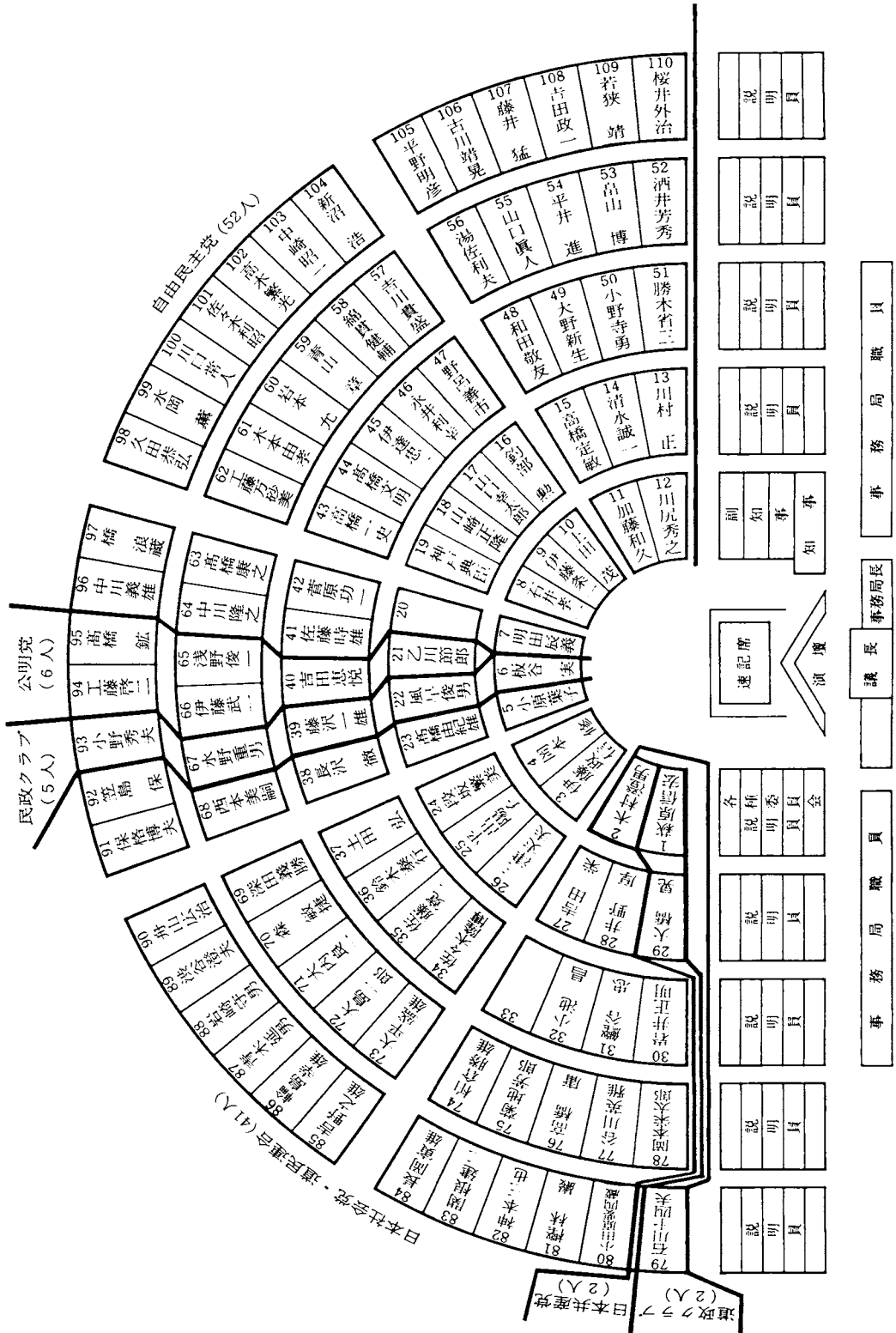
●=委員長 ○=副委員長 △=理事

○議会運営委員 (14人)			
伊藤 条一 (自民) (保健環境)	川尻 秀之 (自民) (建設)	△釣 部 勲 (自民) (農政)	
山崎 正隆 (自民) (農政)	△風早 俊男 (民政) (建設)	高橋 由紀雄 (社会) (農政)	
三津 丈夫 (社会) (文教)	△佐藤 寛一 (社会) (総務)	○長 沢 徹 (社会) (建設)	
△高橋 一史 (自民) (建設)	永井 利幸 (自民) (商工労働観)	●吉川 貴盛 (自民) (生活福祉)	
△伊藤 武一 (公明) (文教)	△西本 美嗣 (社会) (保健環境)		
○総務委員 (14人)	○生活福祉委員 (13人)	○保健環境委員 (13人)	○商工労働観光委員 (13人)
△板谷 実 (民政)	△萩原 信宏 (共産)	△小原 葉子 (社会)	△木村 澄男 (道政)
△加藤 和久 (自民)	△清水 誠一 (自民)	△伊藤 条一 (自民)	○石井 孝一 (自民)
△段坂 繁美 (社会)	●乙川 節郎 (公明)	△大橋 晃 (共産)	△山口 幸太郎 (自民)
○佐藤 寛一 (社会)	△吉田 栄 (社会)	○高橋 文明 (自民)	△平出 陽子 (社会)
野呂 善市 (自民)	鈴木 泰行 (社会)	平井 進 (自民)	井野 厚 (社会)
●畠山 博 (自民)	○菅原 功一 (自民)	木本 由孝 (自民)	△吉田 恵悦 (公明)
湯佐 利夫 (自民)	吉川 貴盛 (自民)	西本 美嗣 (社会)	永井 利幸 (自民)
谷川 英雅 (社会)	高橋 康之 (自民)	●高橋 庸 (社会)	小野寺 勇 (自民)
小田原要四蔵 (社会)	深田 義勝 (社会)	関根 建二 (社会)	柏倉 勝雄 (社会)
青木 延男 (社会)	大島 一郎 (社会)	輪島 幸雄 (社会)	●菊地 芳郎 (社会)
△高橋 鉦 (公明)	樫林 巖 (社会)	渋谷 澄夫 (社会)	長岡 寅雄 (社会)
橋 浪蔵 (自民)	中川 義雄 (自民)	若狭 靖 (自民)	久田 恭弘 (自民)
高木 繁光 (自民)	藤井 猛 (自民)	桜井 外治 (自民)	平野 明彦 (自民)
中崎 昭一 (自民)			
○農政委員 (14人)	○建設委員 (14人)	○水産林務委員 (13人)	○文教委員 (14人)
明田 辰義 (自民)	△伊藤 政信 (社会)	△岡本 修 (社会)	△上田 茂 (自民)
釣 部 勲 (自民)	△川尻 秀之 (自民)	△川村 正 (自民)	△三津 丈夫 (社会)
△山崎 正隆 (自民)	△風早 俊男 (民政)	高橋 定敏 (自民)	○岩井 正明 (社会)
●神戸 典臣 (自民)	○佐々木 隆博 (社会)	鯉谷 忠 (社会)	和田 敬友 (自民)
△高橋 由紀雄 (社会)	長沢 徹 (社会)	小池 昌 (社会)	●山口 真人 (自民)
土田 弘 (社会)	高橋 一史 (自民)	△藤沢 一雄 (民政)	岩本 允 (自民)
大野 新生 (自民)	伊達 忠一 (自民)	○佐藤 時雄 (自民)	△伊藤 武一 (公明)
青山 章 (自民)	勝木 省三 (自民)	酒井 芳秀 (自民)	大内 良一 (社会)
○水野 重男 (民政)	●綿貫 健輔 (自民)	中川 隆之 (自民)	岡本 栄太郎 (社会)
森 敏捷 (社会)	工藤 万砂美 (自民)	●神本 三也 (社会)	保格 博夫 (社会)
△石川 十四夫 (道政)	△浅野 俊一 (公明)	岩崎 守男 (社会)	△小野 秀夫 (民政)
吉野 之雄 (社会)	大平 盛雄 (社会)	△工藤 啓二 (公明)	水岡 薫 (自民)
舟山 広治 (社会)	笠島 保 (社会)	吉田 政一 (自民)	佐々木 利昭 (自民)
古川 靖晃 (自民)	川口 常人 (自民)		新沼 浩 (自民)

○総合開発調査特別委員 (19人)	○石炭対策特別委員 (15人)	○北方領土対策特別委員 (13人)
△木村 澄男 (道政) (商工労働観光)	△加藤 和久 (自民) (総務)	△板谷 実 (民政) (総務)
清水 誠一 (自民) (生活福祉)	△川尻 秀之 (自民) (建設)	△山崎 正隆 (自民) (農政)
△高橋 定敏 (自民) (水産林務)	○釣部 勲 (自民) (農政)	△吉田 栄 (社会) (生活福祉)
平出 陽子 (社会) (商工労働観光)	△高橋 由紀雄 (社会) (農政)	○鯉谷 忠 (社会) (水産林務)
△三津 丈夫 (社会) (文教)	●土田 弘 (社会) (農政)	佐藤 寛一 (社会) (総務)
○井野 厚 (社会) (商工労働観光)	△長沢 徹 (社会) (建設)	●永井 利幸 (自民) (商工労働観光)
佐々木 隆博 (社会) (建設)	△藤沢 一雄 (民政) (水産林務)	小野寺 勇 (自民) (商工労働観光)
鈴木 泰行 (社会) (生活福祉)	和田 敬友 (自民) (文教)	湯佐 利夫 (自民) (総務)
△吉田 恵悦 (公明) (商工労働観光)	大野 新生 (自民) (農政)	高橋 康之 (自民) (生活福祉)
△高橋 文明 (自民) (保健環境)	綿貫 健輔 (自民) (建設)	柏倉 勝雄 (社会) (商工労働観光)
伊達 忠一 (自民) (建設)	工藤 万砂美 (自民) (建設)	舟山 広治 (社会) (農政)
●平井 進 (自民) (保健環境)	△伊藤 武一 (公明) (文教)	△工藤 啓二 (公明) (水産林務)
山口 真人 (自民) (文教)	△石川 十四夫 (道政) (農政)	佐々木 利昭 (自民) (文教)
青山 章 (自民) (農政)	長岡 寅雄 (社会) (商工労働観光)	
△森 敏捷 (社会) (農政)	岩崎 守男 (社会) (水産林務)	
大内 良一 (社会) (文教)		
△小野 秀夫 (民政) (文教)		
久田 恭弘 (自民) (商工労働観光)		
平野 明彦 (自民) (商工労働観光)		

○エネルギー問題調査特別委員 (17人)	○交通安全対策特別委員 (17人)	○過疎地域振興対策特別委員 (15人)
△小原 葉子 (社会) (保健環境)	△伊藤 政信 (社会) (建設)	△岡本 修 (社会) (水産林務)
川村 正 (自民) (水産林務)	△明田 辰義 (自民) (農政)	石井 孝一 (自民) (商工労働観光)
△山口 幸太郎 (自民) (商工労働観光)	△伊藤 条一 (自民) (保健環境)	△加藤 和久 (自民) (総務)
○風早 俊男 (民政) (建設)	○上田 茂 (自民) (文教)	△神戸 典臣 (自民) (農政)
高橋 一史 (自民) (建設)	△乙川 節郎 (公明) (生活福祉)	○高橋 文明 (自民) (保健環境)
△野呂 善市 (自民) (総務)	段坂 繁美 (社会) (総務)	畠山 博 (自民) (総務)
酒井 芳秀 (自民) (水産林務)	△岩井 正明 (社会) (文教)	湯佐 利夫 (自民) (総務)
吉川 貴盛 (自民) (生活福祉)	●小池 昌 (社会) (水産林務)	木本 由孝 (自民) (保健環境)
●中川 隆之 (自民) (水産林務)	佐藤 時雄 (自民) (水産林務)	△水野 重男 (民政) (農政)
△浅野 俊一 (公明) (建設)	菅原 功一 (自民) (生活福祉)	△深田 義勝 (社会) (生活福祉)
△西本 美嗣 (社会) (保健環境)	勝木 省三 (自民) (建設)	岡本 栄太郎 (社会) (文教)
大平 盛雄 (社会) (建設)	△水野 重男 (民政) (農政)	小田原要四蔵 (社会) (総務)
高橋 庸 (社会) (保健環境)	大島 一郎 (社会) (生活福祉)	吉野 之雄 (社会) (農政)
谷川 英雅 (社会) (総務)	菊地 芳郎 (社会) (商工労働観光)	輪島 幸雄 (社会) (保健環境)
関根 建二 (社会) (保健環境)	神本 三也 (社会) (水産林務)	●高橋 鉦 (公明) (総務)
渋谷 澄夫 (社会) (保健環境)	橋 浪蔵 (自民) (総務)	
高木 繁光 (自民) (総務)	水岡 薫 (自民) (文教)	

北海道議会議席表 (平成5年6月23日現在)



第40回衆議院議員総選挙結果

全国党派別当選者調

(平成5年7月18日執行)

党派別	区 分	当 選 者				立候補者	得 票 数	得 票 率 (%)	前 回 の 当 選 者
		新	前	元	計				
自 民		26	179	18	223	285	22,999,640	36.62	275
社 会		5	64	1	70	142	9,687,584	15.43	136
新 生		19	34	2	55	69	6,341,364	10.10	—
公 明		26	24	1	51	54	5,114,350	8.14	45
日 本 新		35	0	0	35	57	5,053,980	8.05	—
共 産		3	8	4	15	129	4,834,585	7.70	16
民 社		1	10	4	15	28	2,205,682	3.51	14
さ き が け		4	9	0	13	16	1,658,097	2.64	—
社 民 連		0	4	0	4	4	461,169	0.73	4
諸 派		0	0	0	0	62	143,485	0.23	1
無 所 属		15	11	4	30	109	4,304,184	6.85	21
合 計		134	343	34	511	955	62,804,120	—	512

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

道内党派別当選者調

党派別	区 分	当 選 者				立 候 補 者				得 票 数	得票率 (%)	前回の 当選者
		新	前	元	計	新	前	元	計			
自 民		1	7	2	10	2	8	2	12	1,083,842	36.33	12
社 会		1	5	0	6	2	7	0	9	761,811	25.53	7
新 生		0	1	0	1	1	1	0	2	185,132	6.20	—
公 明		1	0	0	1	1	0	0	1	171,089	5.73	1
日 本 新		1	0	0	1	1	0	0	1	137,014	4.59	—
民 社		0	1	0	1	0	1	0	1	71,993	2.41	1
さ き が け		0	1	0	1	0	1	0	1	111,824	3.75	—
共 産		0	0	0	0	4	1	0	5	242,364	8.12	1
無 所 属		2	0	0	2	9	0	0	9	218,645	7.33	1
計		6	15	2	23	20	19	2	41	2,983,714	—	23

注 得票数の小数点以下の按分票は切り捨てたため、計欄とは合致しない。

都道府県別党派別当選者数調

区 分	区数	定数	自民	社会	新生	公明	日本新	共産	民社	さきがけ	社民連	諸派	無所属
北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	5	23	10	6	1	1	1	0	1	1	0	0	2
	2	7	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	7	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	8	4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	7	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	7	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	3	12	8	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京都 神奈川	3	12	8	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0
	2	10	4	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0
	3	10	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	5	20	5	1	2	4	4	1	0	1	0	0	2
	4	19	8	1	3	2	3	1	0	1	0	0	0
	11	43	14	1	4	7	7	5	1	1	1	0	2
	5	22	6	4	3	4	4	0	0	1	0	0	0
新潟 富山 石川 福井	4	13	6	2	3	0	0	0	0	0	0	0	2
	2	6	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
山梨 長野 岐阜 静岡県 愛知 三重	1	5	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	4	12	5	2	3	0	0	0	0	2	0	0	0
	2	9	5	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	3	14	6	2	2	1	1	0	1	0	0	0	1
	6	22	6	6	3	2	1	0	2	0	0	0	2
	2	8	4	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0
滋賀 京都 大阪 兵庫県 奈良 和歌山	1	5	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	2	10	4	0	1	2	1	2	0	0	0	0	0
	7	28	5	4	1	7	3	4	2	0	0	0	2
	5	19	4	4	3	3	2	0	0	1	0	0	2
	1	5	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
	2	5	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
鳥取 島根 岡山 広島 山口	1	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	1	5	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	2	10	6	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1
	3	13	6	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0
	2	9	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
徳島 香川 愛媛 高知	1	5	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	6	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	9	7	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	1	5	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
福岡 佐賀 長門 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄	4	20	6	4	2	4	1	0	1	1	1	0	0
	1	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	9	4	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0
	2	9	4	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0
	2	6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	2	5	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	3	9	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	1	5	2	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0
合 計	129	511	223	70	55	51	35	15	15	13	4	0	30

道内候補者別得票数

北海道第1区（定数6）

市区町村名	いけだ隆一 (日本社会党)	こだま健次 (日本共産党)	佐藤 静雄 (自由民主党)	あべ 康彦 (無 所 属)	小林かきさぶろう (無 所 属)	町村 信孝 (自由民主党)	金石 清神 (自由民主党)	長内 順一 (公 明 党)	松浦とも子 (新 生 党)	荒井さとし (日本新党)	沢田 健一 (無 所 属)	伊東 秀子 (日本社会党)
札幌市	89,095	91,365	76,620	9,261	3,868	128,165	18,694	124,418	55,964	107,525	10,882	118,853
中央区	7,194	6,914	7,999	1,515	377	14,842	2,389	10,225	6,523	13,101	1,018	10,824
北区	13,627	13,780	10,864	1,102	619	16,423	3,310	17,386	7,758	14,827	2,165	16,359
東区	12,387	15,727	10,078	1,295	499	16,399	2,333	19,100	7,327	11,887	1,439	15,123
白石区	8,789	11,546	7,818	830	381	12,587	1,588	15,288	5,679	9,825	1,107	12,962
豊平区	13,915	12,873	11,980	1,722	645	22,580	2,842	20,413	9,192	19,190	1,674	19,654
南区	7,577	6,385	9,756	831	364	14,133	1,937	9,925	5,429	10,662	821	11,116
西区	10,870	10,208	8,265	917	443	14,510	2,209	14,701	6,451	12,852	1,115	14,411
厚別区	6,524	7,246	4,993	541	280	8,454	998	8,386	3,816	8,232	772	8,789
手稲区	8,212	6,686	4,867	508	280	8,237	1,088	8,994	3,789	6,949	771	9,615
小樽市	17,375	12,149	10,258	466	343	9,339	2,506	12,842	6,345	6,310	605	5,823
江別市	5,314	5,614	3,031	368	231	11,538	624	7,370	2,651	5,667	639	10,713
千歳市	2,218	1,801	6,988	258	199	9,029	1,439	5,538	3,113	4,462	620	5,138
恵庭市	1,929	2,124	5,352	231	142	7,251	706	3,826	2,284	3,123	410	4,166
市 計	115,931	113,053	102,249	10,594	4,803	165,322	23,969	153,994	70,357	127,087	13,156	144,693
石狩支庁												
広島町	2,811	2,709	2,695	274	93	5,123	528	3,872	1,643	2,905	294	5,576
石狩町	2,407	2,651	2,944	164	108	4,090	413	3,530	1,602	2,470	296	3,897
当別町	493	1,180	1,414	58	22	2,074	166	1,091	337	1,469	65	1,359
新篠津村	77	167	650	8	7	764	46	167	77	136	7	310
厚田村	101	67	402	5	8	346	18	443	117	79	9	295
浜益村	92	250	216	6	1	292	88	181	59	60	1	485
石狩支庁計	5,981	7,024	8,321	515	239	12,689	1,259	9,284	3,835	7,119	672	11,922
後志支庁												
島牧村	171	116	548	4	1	201	26	176	52	44	13	73
寿都町	473	336	979	6	12	312	56	320	101	71	17	137
黒松内町	478	299	726	10	9	227	131	158	106	63	9	156

蘭越町	682	177	1,082	9	8	355	1,315	334	119	86	10	183
二七コ町	268	148	1,478	7	8	177	203	220	89	96	7	182
真狩村	209	66	640	5	4	213	57	134	220	69	10	155
留寿都村	177	88	444	5	3	211	45	117	70	45	4	52
喜茂別町	544	57	622	9	11	287	33	233	94	151	11	105
京極町	258	43	1,253	3	12	185	68	247	76	64	9	157
倶知安町	1,616	537	4,558	19	18	666	586	982	295	442	44	504
共和町	981	135	1,421	4	4	417	64	615	185	220	20	255
岩内町	1,435	726	2,745	27	30	1,563	229	1,423	444	413	34	629
泊村	254	190	362	5	4	224	21	219	99	29	2	66
神恵内村	203	56	292	6	1	135	13	124	50	11	5	60
積丹町	297	133	719	13	5	306	78	299	209	97	2	155
古平町	238	211	1,006	19	8	288	41	297	102	92	27	200
仁木町	337	315	839	20	9	423	57	259	124	124	12	155
余市町	2,129	1,836	2,892	61	37	1,819	300	1,557	1,172	656	79	725
赤井川村	150	97	289	5	6	172	10	97	38	35	6	55
後志支庁計	10,900	5,566	22,895	237	190	8,181	3,333	7,811	3,645	2,808	321	4,004
町村計	16,881	12,590	31,216	752	429	20,870	4,592	17,095	7,480	9,927	993	15,926
第1区計	132,812	125,643	133,465	11,336	5,232	186,192	28,561	171,089	77,837	137,014	14,149	160,619

北海道第2区（定数4）

市区町村名	五十嵐 広 三 (日本社会党)	えんどう 英徳 (日本共産党)	上 草 義 輝 (自由民主党)	今 津 ひろし (自由民主党)	ささき 秀 典 (日本社会党)	金田 えいこう (自由民主党)
旭 川 市	39,003	11,684,253	21,033	37,841	34,468,746	31,687
留 萌 市	1,094	622	4,470	2,520	4,524	3,040
稚 内 市	6,199	1,293	5,439	3,883	1,484	5,696
士 別 市	4,710	661	2,778	2,513	972	2,346
名 寄 市	5,223	655	3,412	3,697	1,030	2,653
富 良 野 市	1,144	678	1,555	3,156	5,359	1,674
市 計	57,373	15,593,253	38,687	53,610	47,837,746	47,096
上 川 支 庁						
鷹 栖 町	456	184	603	971	1,320	510
東 神 楽 町	312	180	413	509	1,767	458
当 麻 町	435	138	1,022	934	979	1,239
比 布 町	303	215	479	893	749	377
愛 別 町	196	80	488	935	622	659
上 川 町	264	152,082	372	544	1,687,917	739
東 川 町	340	195	422	1,204	1,196	673
美 瑛 町	562	369	912	1,786	2,709	1,145
上 富 良 野 町	441	260	1,621	2,512	1,149	1,247
中 富 良 野 町	226	125	566	932	988	709
南 富 良 野 町	121	70	265	427	898	270
占 冠 村	77	39	110	195	461	141
和 寒 町	830	119	831	603	216	949
剣 淵 町	1,004	159	382	649	185	433
朝 日 町	508	49	428	402	68	244
風 連 町	1,137	77	443	1,414	174	504
下 川 町	1,215	69	694	647	144	394
美 深 町	1,450	136	528	1,189	232	781
音 威 子 府 村	420	28	100	194	25	117
中 川 町	680	38	187	466	58	397
上川支庁計	10,977	2,682,082	10,866	17,406	15,627,917	11,986

北海道議会時報第45巻第2号(平成5年第2回定例会)

北海道第3区（定数3）

市区町村名	ふしきだ 政義 (日本共産党)	佐 藤 孝 行 (自由民主党)	秋 田 きみお (無 所 属)	はちろ 吉 雄 (日本社会党)	金 田 誠 一 (無 所 属)	あ べ (無 所 属)	牧 野 きよし (無 所 属)
函 館 市	8,617	33,358	19,511	24,611	36,238	9,756	6,020
市 計	8,617	33,358	19,511	24,611	36,238	9,756	6,020
渡 島 支 庁							
松 前 町	191	3,108	621	442	1,344	884	209
福 島 町	136	1,587	437	270	455	673	77
知 内 町	66	1,242	1,002	350	420	260	26
木 古 内 町	137	1,369	580	484	1,042	412	53
上 磯 町	1,827	4,391	1,931	2,457	3,278	1,066	552
大 野 町	179	2,019	334	1,027	670	519	191
七 飯 町	620	3,584	1,324	3,766	1,653	762	1,694
戸 井 町	97	1,431	154	405	87	382	53
恵 山 町	84	1,723	174	533	136	407	30
榎 法 華 村	22	466	71	200	30	241	16
南 茅 部 町	93	2,617	329	687	197	950	75
鹿 部 町	27	1,316	120	424	112	336	127
砂 原 町	71	1,394	148	405	94	413	72
森 町	356	3,063	847	1,962	370	1,170	281
八 雲 町	485	3,133	923	3,438	386	858	274
長 万 部 町	252	1,444	376	2,112	161	482	84
渡島支庁計	4,643	33,887	9,371	18,962	10,435	9,815	3,814
檜 山 支 庁							
江 差 町	483	1,792	654	2,444	176	379	93
上 国 町	173	1,687	238	1,374	93	345	44
厚 沢 町	142	1,409	358	1,334	51	265	35
乙 部 町	367	1,464	205	707	81	265	51
熊 石 町	71	1,013	370	747	80	238	30
大 成 町	145	1,185	112	401	31	166	13
奥 尻 町	78	898	136	245	37	300	34
瀬 棚 町	58	1,093	71	480	29	111	14

北 檜 山 町	186	2,295	200	1,290	45	66	35
今 金 町	106	1,072	176	3,025	43	164	26
檜山支庁計	1,809	13,908	2,520	12,047	666	2,299	375
町 村 計	6,452	47,795	11,891	31,009	11,101	99	4,189
第 3 区 計	15,069	81,153	31,402	55,620	47,339	21,870	10,209

北海道第4区(定数5)

市区町村名	紙 智 子 (日本共産党)	小 平 忠 正 (民 社 党)	いけはた 清一 (日本社会党)	高 橋 辰 夫 (自由民主党)	渡 辺 省 一 (自由民主党)	はとやま由紀夫 (さ き が き)	中 派 けんじ (日本社会党)
室 蘭 市	6,617	6,321	16,486	2,267	1,863	27,962	898
夕 張 市	1,567	1,168	239	950	1,674	918	5,454
岩 見 沢 市	4,775	9,434	1,720	3,248	7,796	5,913	10,416
苫 小 牧 市	10,687	9,929	16,514	17,328	6,958	14,699	3,279
美 唄 市	1,794	2,268	500	1,112	8,937	1,537	4,094
芦 別 市	1,709	1,774	492	1,773	2,214	2,027	3,807
赤 平 市	1,400	819	184	726	1,959	1,732	3,825
三 笠 市	1,083	1,105	286	449	1,744	1,756	3,578
滝 川 市	2,831	3,197	1,022	4,141	4,246	4,857	5,419
砂 川 市	1,482	1,954	457	1,284	1,972	1,671	3,856
歌 志 内 市	819	211	106	189	774	979	1,989
深 川 市	1,696	2,255	979	2,403	2,970	3,889	2,968
登 別 市	3,209	3,216	8,784	3,380	1,729	9,531	544
伊 達 市	1,646	2,115	3,848	4,857	1,158	5,737	519
市 計	41,315	45,766	51,617	44,107	45,994	83,208	50,646
空 知 支 庁							
北 村	184	1,459	38	124	613	147	213
栗 沢 町	305	1,763	130	708	1,088	493	1,073
南 幌 町	354	1,069	156	585	887	705	422
奈 井 江 町	507	933	118	809	1,053	494	1,048
上 砂 川 町	726	227	81	203	673	402	1,736
由 仁 町	362	1,048	116	950	1,061	585	801
長 沼 町	793	1,387	227	1,655	1,933	896	697
栗 山 町	886	2,292	228	1,442	1,555	1,552	1,621
月 形 町	135	946	83	202	646	593	465
浦 臼 町	143	475	58	257	529	349	125
新 十 津 川 町	424	1,202	164	1,243	1,019	915	630
妹 背 牛 町	169	453	69	613	955	631	293
秩 父 別 町	154	667	64	344	651	388	204
雨 竜 町	143	451	75	358	586	482	422

北 竜 町	68	651	38	490	300	368	192
沼 田 町	272	927	60	630	619	542	346
幌 加 内 町	98	381	72	248	445	214	248
空知支庁計	5,723	16,331	1,777	10,861	14,613	9,756	10,536
胆 振 支 庁							
豊 浦 町	241	243	564	984	588	809	53
虻 田 町	466	493	1,704	1,357	720	1,379	83
洞 爺 村	89	206	129	383	194	334	21
大 滝 村	56	94	121	318	69	384	26
壮 瞥 町	99	211	404	683	333	511	30
白 老 町	1,252	1,302	2,178	4,966	968	2,387	358
早 来 町	240	217	413	1,366	481	783	59
追 分 町	333	256	869	375	220	429	110
厚 真 町	256	612	516	1,066	473	866	125
鶴 川 町	557	682	776	1,295	568	945	73
穂 別 町	220	443	681	632	309	493	64
胆振支庁計	3,809	4,759	8,355	13,425	4,923	9,320	1,002
日 高 支 庁							
日 高 町	182	171	526	346	237	252	30
平 取 町	307	771	1,059	915	845	491	81
門 別 町	665	826	1,433	1,786	1,246	1,355	208
新 冠 町	313	492	874	911	486	678	42
静 内 町	1,120	1,188	2,951	2,848	1,873	2,931	228
三 石 町	240	369	708	1,323	690	368	39
浦 河 町	1,167	732	2,743	2,284	924	1,775	313
様 似 町	256	369	739	1,432	569	949	64
え り も 町	360	219	651	1,096	1,010	741	90
日高支庁計	4,610	5,137	11,684	12,941	7,880	9,540	1,095
町 村 計	14,142	26,227	21,816	37,227	27,416	28,616	12,633
第 4 区 計	55,457	71,993	73,433	81,334	73,410	111,824	63,279

北海道第5区 (定数5)

市区町村名	池本柳次 (日本社会党)	岡田利春 (日本社会党)	たけべつとむ (自由民主党)	北村なおと (新生党)	鈴木宗男 (自由民主党)	中川昭一 (自由民主党)	あきべ (無所属)	平得 (無所属)	村口てるみ (日本共産党)	永井てつお (無所属)
釧路市	1,469	37,430	2,593	44,418	5,891	6,754	1,671	1,671	5,517	1,616
帯広市	24,161	2,094	1,491	5,963	14,919	35,056	910	910	4,149	3,453
北見市	493	758	21,081	3,688	4,570	3,340	491	491	2,687	21,078
網走市	218	493	8,499	1,512	3,269	1,671	257	257	1,038	6,437
紋別市	188	453	5,086	975	3,387	1,364	125	125	662	4,128
根室市	259	3,502	1,832	5,728	2,969	2,814	185	185	1,128	300
市計	26,788	44,730	40,582	62,284	35,005	50,999	3,639	3,639	15,181	37,012
網走支庁										
東藻琴村	12	24	605	397	215	170	20	20	77	437
女満別町	28	91	1,459	598	779	306	14	14	75	659
美幌町	152	210	4,959	1,205	2,433	1,707	100	100	375	3,738
津別町	17	43	1,346	337	379	558	15	15	165	2,071
斜里町	96	131	4,489	520	384	180	53	53	237	2,799
清里町	22	30	1,578	279	360	108	9	9	40	1,427
小清水町	34	44	1,845	208	331	201	20	20	214	1,270
端野町	12	22	1,473	206	369	275	14	14	85	804
訓子府町	22	133	1,490	521	527	377	21	21	177	1,028
置戸町	14	21	1,204	161	272	177	19	19	75	1,238
留辺蘂町	36	76	2,001	406	1,216	473	28	28	166	2,678
佐呂間町	20	73	2,135	334	454	440	21	21	141	1,377
常呂町	21	38	1,445	218	515	338	17	17	74	719
生田原町	15	20	848	75	214	195	13	13	53	701
遠軽町	69	122	3,132	986	2,484	916	68	68	283	3,590
瀬戸町	4	13	690	41	177	88	6	6	45	774
白滝村	4	5	447	18	112	58	3	3	10	407
上湧別町	31	69	1,605	332	586	374	22	22	102	1,342
湧別町	13	32	1,900	244	289	441	15	15	58	777
滝上町	18	39	836	106	600	486	22	22	37	981
興部町	40	76	1,366	226	488	277	31	31	98	850
西興部村	10	14	553	16	63	62	2	2	18	226

雄	武	町	26	70	1,464	196	854	318	20	234	737
網走支庁計			716	1,396	38,870	7,630	14,101	8,525	553	2,839	30,630
十勝支庁											
十	勝	支									
音	更	町	5,837	403	375	1,168	3,516	8,047	155	974	555
士	幌	町	1,896	42	46	142	730	1,510	26	275	41
上	士	幌	1,561	74	126	262	744	1,183	21	124	48
鹿	追	町	1,106	76	140	428	845	1,200	30	94	89
新	得	町	1,641	176	82	274	1,236	1,664	60	184	112
清	水	町	1,642	205	175	978	941	2,905	50	289	124
芽	室	町	2,486	268	379	568	1,411	3,939	88	588	263
中	札	村	960	27	61	150	409	842	21	109	47
更	別	村	520	57	19	141	512	853	10	61	62
忠	類	村	357	20	16	43	157	488	1	139	40
大	樹	町	1,165	64	56	159	962	2,032	23	208	79
広	尾	町	1,038	80	252	183	1,596	2,944	35	258	76
幕	別	町	3,990	353	247	653	2,022	4,562	70	766	483
池	田	町	2,104	172	69	456	1,125	1,833	40	168	238
豊	頃	町	751	41	107	267	685	1,227	9	95	58
本	別	町	2,169	149	79	458	1,953	1,828	23	199	151
足	寄	町	1,398	77	30	260	4,154	752	21	140	83
陸	別	町	853	25	36	104	1,162	483	4	81	53
浦	幌	町	1,463	160	245	335	962	1,916	26	116	93
十勝支庁計			32,937	2,469	2,540	7,029	25,122	40,208	713	4,868	2,695
釧路支庁											
釧	路	支									
釧	路	町	100	2,955	523	4,809	965	736	142	524	154
厚	岸	町	77	1,454	303	2,438	1,715	1,678	84	299	78
浜	中	町	19	1,116	376	1,808	985	621	30	199	27
標	茶	町	77	1,928	149	2,568	368	780	43	375	86
弟	子	屈	77	1,710	541	2,347	656	572	43	151	96
阿	寒	町	40	874	121	2,075	439	647	48	127	52
鶴	居	村	7	193	9	1,454	42	22	13	70	8
白	糠	町	104	2,336	180	3,140	437	757	84	346	86

市区町村名	池 本 柳 次 (日本社会党)	岡 田 利 春 (日本社会党)	たけべ つとむ (自由民主党)	北 村 なおと (新生党)	鈴 木 宗 男 (自由民主党)	中 川 昭 一 (自由民主党)	あきべ 得 平 (無 所 属)	村 口 てるみ (日本共産党)	永 井 てつお (無 所 属)
音 別 町	64	334	105	1,145	164	233	9	102	19
釧路支庁計	565	12,900	2,307	21,784	5,771	6,046	496	2,193	606
根 室 支 庁									
別 海 町	92	1,696	1,149	2,952	1,716	2,217	99	552	141
中 標 津 町	176	3,045	944	3,754	1,895	1,546	126	322	213
標 津 町	28	1,022	825	1,102	535	504	35	111	61
羅 臼 町	26	978	727	760	1,056	787	25	70	64
根室支庁計	322	6,741	3,645	8,568	5,202	5,054	285	1,055	479
町 村 計	34,540	23,506	47,362	45,011	50,196	59,833	2,047	10,955	34,410
第 5 区 計	61,328	68,236	87,944	107,295	85,201	110,832	5,686	26,136	71,422

4 月 の メ モ

- 2 日 ○5 湿地を条約登録へ 環境庁は水鳥の生息地などとして国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約の登録湿地に本道の霧多布湿原、厚岸湖・別寒辺牛湿原のほか、谷津（やつ）干潟（千葉県）、片野嶋池（石川県）、琵琶湖（滋賀県）の計 5 ヵ所の追加指定を正式に決めた。
- 8 日 ○カンボジアで日本人ボランティア射殺 国連ボランティアの選挙監視員、中田厚仁さん（25）一大阪府東大阪市出身一が、コンポントム州で移動中、ポル・ポト派とみられる武装ゲリラに射殺された。同国で日本人が敵対行動で殺害されたのは初めて。
- 12 日 ○納采の儀で婚約が調う 皇太子さま（33）と小和田雅子さん（29）の一般の結納に当たる「納采（のうさい）の儀」が、東京・目黒区の小和田家で行われた。
- 16 日 ○江別太遺跡出土品が重文に 文化財保護審議会は江別市東野幌の千歳川右岸の続縄文時代（2—3世紀）遺跡から発見された木製の柄付き石器など59点を重要文化財に指定するよう答申した。
- 19 日 ○米のろう城宗教団体に強行突入 テキサス州ウェーコで2月28日以来、集団ろう城を続けていた武装宗教団体「ブランチ・デビディアン」に対し、米連邦捜査局（FBI）は建物への突入作戦を強行。メンバーの放火で集団自殺を図り、86人が死亡した。
- 28 日 ○チョウザメふ化に成功 北電が道内で初めての人工ふ化に成功したと発表した。同社総合研究所が90年から旧ソ連で人工交配されたチョウザメを北大水産学部の協力で飼育。今年3月末に約2200匹のふ化にこぎつけた。
- 29 日 ○為替安定で合意 先進7ヶ国蔵相・中央銀行総裁会議（G7）がワシントンで開かれ、各国が為替相場の安定を目指して協力することを申し合わせた。

5 月 の メ モ

- 4 日 ○オホーツク沿岸に流氷居座る 網走地方気象台によると、網走での「流氷終日」の最も遅い記録は5月12日（昭和40年）。28年ぶりの記録更新になりそうで、漁業者は出漁できず、農家の春耕作業は遅れ、深刻な影響が出始めている。
- PKO文民警察官5人死傷 カンボジア北西部のバンティミエンチェイ州でパトリール中の日本人文民警察官が武装集団に襲われ1人が死亡、4人が重軽傷を負った。
- 14 日 ○北方四島とのビザなし交流、本年度第1回訪問団 国後島の古釜布（ユジノクリーリスク）に向けて47人が、民間の旅客船で根室・花咲港から出発。現地で民泊し、16日に戻る。
- 20 日 ○ハイメックス構想推進へ財団法人 道、経済界などで行う北海道国際医療・産業複合都市（ハイメックス）建設推進協議会は総会で、事業推進のための財団法人を本年度内に設立することを決めた。
- 暴力団組長との黒い交際で釧路市議が辞職 釧路市内の暴力団組長が高校生を使って同じ高校の生徒にパーティー券を強制的に売りさばかせた恐喝事件で、券の売りさばきを別の組長に依頼した五ノ井護市議（49）は責任を取り辞職願を提出。同議員と同じ会派の菅原博旦市議会議員も辞意を表明した。
- 25 日 ○相互主義でロシア機が新千歳乗り入れへ 日ロ両国は、6月1日の新千歳空港発ロシア・ウラジオストクへの日本側チャーター便の見返りに、ロシア側チャーター機の新千歳乗り入れで合意した。
- 27 日 ○「二風谷ダム」提訴 日高管内平取町の二風谷ダム建設の土地強制収用問題をめぐり、アイヌ民族地権者2人が道収用委員会を相手取り「収用裁決は不当」と、札幌地裁に行政訴訟を起した。ダム建設による公共の利益か、アイヌ民族の權益かが真っ向から争われる裁判は初めて。

- 9日 ○皇太子さまと雅子さまの「結婚の儀」が行われ、平成時代の新皇室を象徴する国際派カップルが誕生した。お2人は古装束姿で神前に結婚を誓ったあと、洋装に着替え宮殿で天皇、皇后両陛下に結婚成立を報告。祝賀パレードでは、約4.2kmの沿道に詰め掛けた約19万人の祝福を受けられた。
- 14日 ○国会が資産初公開 衆参両院議員を対象にした初の資産公開が報告書閲覧の形で実施された。資産総額の平均は約8860万円。10億円を超えた議員は12人に上った。
- 16日 ○ラムサール条約締結国会議閉幕 釧路市で開かれていたラ条約会議は今後の湿地保全の指針となる「釧路声明」を採択して閉会した。
- 17日 ○宮中饗宴（きょうえん）の儀行う 皇太子ご夫妻の結婚を祝う宮中饗宴の儀が3日間にわたって、国の行事として皇居・宮殿の豊明殿で行われた。計6回の宴には国会議員や横路知事ら都道府県知事、各国大使らが招待された。
- 18日 ◎第2回定例道議会開会
○衆院が解散、総選挙へ 衆院本会議は野党提出の内閣不信任決議案を採決した結果、自民党羽田派などが賛成に回ったため可決された。宮沢首相は憲法7条に基づいて衆院を解散した。
- 21日 ○トヨタ北海道の機械工場が本格操業 トヨタ自動車北海道で自動変速機生産（当面月産1万2千台）が始まった。これでアルミホイール、祖形材工場と合わせ3工場体制が整った。
- 27日 ○日本新党が大躍進 総選挙の前哨戦となった東京都議会議員選挙は、前回惨敗した自民党が微増にとどまり、社会党は18議席減の敗北となった。その一方で新顔の日本新党が20議席を得る大躍進を果たした。

- 2日 ◎第2回定例道議会閉会
○道議会、30年ぶりに会期末前に閉会 第2回定例道議会は、93年度一般会計補正予算案、「政治改革の早期実現を求める決議」案などを可決し、会期を3日残り閉会した。会期末前に閉会したのは63年の第1回定例会以来。
- 5日 ○密航中国人、上陸先は厚岸 釧路管内厚岸町の漁港に放置されていたイカ釣り漁船、第28宝昌丸で、中国からの密航中国人約100人が上陸、全国に散っていたことが道警の調べで分かった。道警は密航計画の首謀者として、釧路市内の暴力団幹部らを全国に指名手配した。
- 12日 ○M7.8の北海道南西沖地震発生、津波と大規模火災で260人余の死者、行方不明者 午後10時17分ごろ本道南西部から東北地方北部にかけ強い地震があった。檜山管内江差町、後志管内寿都町などで震度5の強震を記録。檜山管内奥尻町は津波と火災で壊滅的な被害を受けた。
- 18日 ○自民党過半数割れ 第40回衆院選の結果、自民党は過半数に届かず、選挙前勢力も割り込む223議席（その後4人追加公認）で結党以来最低を記録した。社会党も選挙前勢力の半減に近い70議席で歴史的な大敗を喫した。新党ブームの中で新生党、日本新党、新党さきがけの3グループは合わせて100議席を突破、多党化と政界再編の時代を迎えた。
- 27日 ○奥尻島などを両陛下がお見舞い 天皇・皇后両陛下は北海道南西沖地震で大きな被害を受けた檜山管内奥尻町、瀬棚町をご訪問、避難所生活を送る被災民らにお見舞いと激励の言葉をかけられた。
- 29日 ○「細川首相」が確定 社会、新生、公明、民社、新党さきがけ、社民連の7党と参院院内会派の民主改革連合は、党首会談で連立政権樹立に合意、日本新党の細川護熙代表を首相候補とすることで一致した。

北海道議会時報 第45巻第2号
平成5年9月21日発行

編集 北海道議会事務局調査課
発行 北海道議会事務局

北海道議会時報第45巻第2号(平成5年第2回定例会)